取扱説明書

日立パッケージエアコン

システムフリーZ

壁掛型室内ユニット

かべかけ

このたびは日立パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、エアコンを正しくご使用ください。

お読みになった後は、大切に保管してください。
保証書は室外ユニットに付属しています。
わからないときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

お客様がご使用になっているエアコンの室内ユニットは☑のものです。

		室内ユニット単体型式
冷暖房兼用型・冷房専用型共用	単相機（ヒーターレス）	□RPK-AP22K □RPK-AP28K □RPK-AP36K □RPK-AP40K □RPK-AP45K □RPK-AP50K □RPK-AP56K □RPK-AP63K □RPK-AP71K □RPK-AP80K □RPK-AP90K □RPK-AP112K □RPK-AP22KH □RPK-AP28KH □RPK-AP36KH

次の室外ユニットと組み合わせてあります。　RAS-＿＿＿＿　型式をご記入の上、お客様にお渡しください。

この取扱説明書は室内ユニット用です。
組み合わせられる室外ユニットに付属している取扱説明書も合わせてご覧ください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

はじめに

●この製品は国内向け一般空調用です。
●食品、動植物、精密機器および美術品の保存など特殊用途には使わないでください。
●次のような場所への設置はしないでください。多くの場合エアコンが故障する原因になります。
・油（機械油も含む）の飛沫・蒸気の多い場所。
・火炎、油、水蒸気および粉など直接吸い込む恐れがある場所、および調理する場所の真上。
・温泉地など硫化ガスの多い場所。
・可燃性ガスの発生・流入などの恐れがある場所。
・海岸地帯の塩分の多い場所。
・酸性またはアルカリ性の雰囲気の場所。
・腐敗物の保管所などガスが発生する恐れがある場所。

●電磁波を発生する医療機器などを使用するときはエアコンの誤作動防止に注意してください。
電磁波の発信面を、室内ユニットの電気品箱およびリモコンコード、リモコンスイッチに直接向かわない位置に据え付けてください。
電磁波の空中伝播の影響をさけるため、電磁波を発信する機器、ラジオなどは、エアコンより３m以上離してください。
●ワイヤレスリモコンを使用する際、照明器具などの影響により受光部が信号を受けにくくなる場合があります。ユニット本体と照明器具などは１m以上離してください。

記号の意味

⚠警告：取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定できる場合を示します。
⚠注意：取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定できる場合を示します。
留意事項：警告・注意以外の注記事項を示します。
メモ：知っていると便利な情報を示します。

：禁止事項を示します。
：強制事項を示します。特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示です。
：強制事項を示します。必ずアース線を接続するよう指示する表示です。
：参照ページを示します。

安全のため必ずお守りください

●ご使用の前に、この「安全のため必ずお守りください」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、誤った取り扱いをしたときに、死亡および重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて掲載しています。
しかし、「⚠注意」の欄に掲載した事でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。いずれも安全に関する重要な内容を掲載していますので必ずお守りください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

据付・電気工事について

⚠警告

●据え付けは、お買い上げの店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れ、感電、火災およびユニット落下によるケガの原因になります。

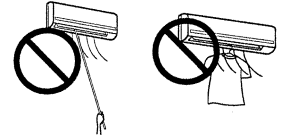
●小部屋に据え付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えないように対策する必要があります。
万一冷媒がもれて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。
詳しくはお買い上げの店にご相談ください。

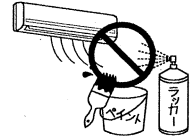
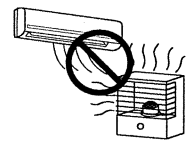
●電気工事をするには資格が必要ですので、資格のある店に依頼してください。
ご自分で電気工事をされ不備があると感電および火災の原因になります。
万一アースが外れると感電の恐れがありますので、最寄の電気工事店に連絡し、アースを取りつけてください。

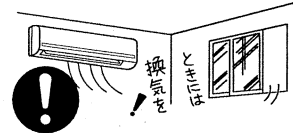
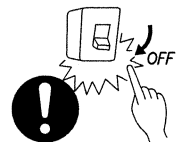
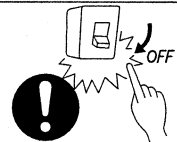
●漏電遮断器が取り付けられているか確認してください。
漏電遮断器が取り付けられていないと感電および火災の原因になります。

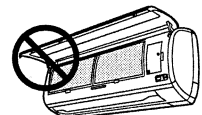
運転中に

警告

●空気の吹出口および吸込口に指または棒などを入れないでください。
また、エアコン吹出口にハンガーなどを引っ掛けないでください。
内部で回転しているファンや電気品にあたり、ケガおよび故障の原因になります。

●濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電の原因になります。

●エアコンを運転している部屋では引火物を使わないでください。
ラッカー、ペイントなどの可燃性スプレーおよび油（機械油も含む）の蒸気は発火の原因になります。

●エアコンの風が直接あたる場所へ燃焼器具を置かないでください。
燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

●長時間冷風を身体に当てたり、冷やしすぎないようにしてください。
体調悪化および健康障害の原因になります。

●燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になります。

●安全装置がたびたび作動したり運転スイッチの作動が確実でない場合は、ただちに元電源を切ってください。
漏電または過電流の可能性があるため、感電、火災および破裂の原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して、元電源スイッチをただちに切ってください。
異常のまま運転を続けると故障、感電および火災などの原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●不燃性、非毒性、無臭性の安全冷媒（フルオロカーボン）を使用していますが、万一フルオロカーボンが漏れて火気に触れると有害ガスが発生する原因になります。また、フルオロカーボンは空気より比重が重いため、床面付近をおおい酸素欠乏の原因になります。
●万一フルオロカーボンが漏れたときには、ストーブなどの火気を消して床面を掃くようにして換気したうえで、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●ユニットのサービスカバーやパネルを外したまま運転しないでください。
ファンが露出して非常に危険です。また、電気部品の通電部分に触れると感電の原因になります。

注意

●動植物に直接風があたる場所には設置しないでください。
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

●冷房（暖房）シーズン中は、室内ユニットの電源を切らないでください。
（オプションのドレンアップメカを取り付けている場合に限ります。）
電源を切るとドレン水を強制的に排出できなくなり、水受けから水があふれ天井面および床面を汚す原因になることがあります。

安全のため必ずお守りください(つづき)

修理・移設について

⚠警告

●エアコンを修理または移設するときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。
修理や据え付けに不備があると、感電および火災などの原因になります。

その他の警告および注意

⚠警告

●お手入れの際は、必ずエアコンの元電源を切ってから作業してください。
感電および傷害の原因になります。

●お手入れのときなど、内部に水を入れないようにしてください。
電気品に水がかかると感電の原因になります。

●製品および電気配線の改造変更をしないでください。
重大事故の原因になります。

●お手入れの際は、足場はしっかりしたものを使用してください。
転倒および傷害の原因になります。

●お手入れの際は、室内ユニットに水やスプレー式の洗剤をかけないでください。
電気ショートによる感電および火災の原因になります。

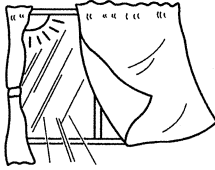
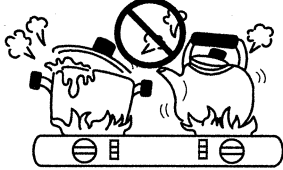
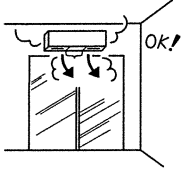
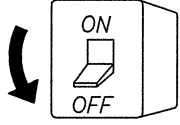
●お手入れの際は、電気部およびコネクターを必ず養生し、水が掛からないようにしてください。
電気ショートによる感電および火災の原因になります。

●エアコンの配管内には冷媒が封入されているため高圧になっています。資格者以外は配管接続部を緩めたり、外したりしないでください。
資格者以外が作業をすると重大事故の原因になります。

⚠注意

●フラットパネルの開閉、フィルターの取り付けおよび取り外し時は、手でしっかり保持してください。
落下および障害の原因になることがあります。

【ワイヤレスリモコンスイッチについて】
●電池は次の点に注意して使用してください。誤った使い方をすると、液漏れおよび破裂の原因になることがあります。
1. 新しい電池と使った電池を混ぜて使わないでください。
2. 種類の違う電池(例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池)を混ぜて使わないでください。
3. 長期間(2～3ヵ月)使わない場合は、電池寿命の観点から電池を取り出しておくことをお勧めします。
●電池を取り出し、再び挿入する場合は誤作動防止のため、5秒間以上経過してから挿入してください。

上手にお使いいただくために

次の範囲でお使いください

区分＼条件	室外ユニット吸込空気温度は	室内ユニット吸込空気温度は(室内温度ではありません)
冷房運転	-5℃以上43℃以下(乾球)	約21.5℃以上30℃以下(乾球)(相対湿度約80%以下)
暖房運転	約-10℃以上15.5℃以下(湿球)	17℃以上25℃以下(乾球)

注)1. 上記範囲外の場合は機械の保護装置が働いて、運転ができないことや、室内ユニットから露が落下することがあります。
2. 冷房専用室外ユニットと組み合わせで使用した場合は、暖房運転は行いません。

上手にお使いいただくために

効果的にお使いいただくには

窓および出入口は開けたままにしない

運転効率が悪くなります。
室内ユニットの結露の原因になります。

(換気にも十分注意してください。)

窓には、カーテンまたはブラインドを

直射日光をふせぎ、冷房効果が良くなります。

冷房中は発熱器具をできるだけ使わない

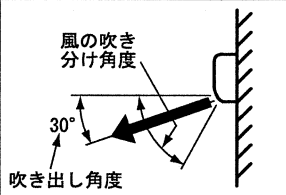
冷房効果が弱くなります。
露付き、落下の原因になります。

天井に熱い空気がこもる場合は、サーキュレーターのご使用を

快適性が向上します。詳しくはお買い上げの店にご相談ください。

長期間使用しないときは元電源スイッチを切る

元電源スイッチを切らないと、エアコンを使用しない期間も待機電力分の料金を支払わなくてはなりません。

シーズンオフはOFF

冷・暖房を十分に行きわたらせるには

冷　　房

1. 風向き

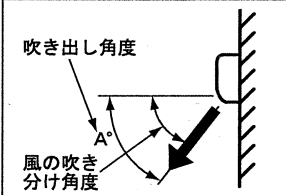
風の適正吹出角度は30°です。

設定の方法
PC-AR1 ☞16, 17ページ
PC-ARF ☞23ページ
PC-LH3A ☞30, 31ページ

冷えが良くないときは風向きを変えてみてください。下向きで長時間使用しますと風向調節羽根に露が付き、場合によっては滴下することがありますのでご注意ください。

2. 風量

通常は「強風」で使用します。
「急風」にすると、さらに風が広く行きわたります。

3. 温度

おすすめ設定温度は27 ～ 29℃です。冷えが良くないときには低めに設定します。

暖　　房

1. 風向き

風の適正吹出角度はA°(右表)です。

型式	A°
22 ～ 45 型	50
50 ～ 112 型	60

設定の方法
PC-AR1 ☞16, 17ページ
PC-ARF ☞23ページ
PC-LH3A ☞30, 31ページ

暖まりが良くないときは風向きを変えてみてください。

2. 風量

通常は「強風」で使用します。
「急風」にすると、さらに風が下まで広く行きわたります。

3. 温度

おすすめ設定温度は18 ～ 20℃です。暖まりが良くないときには高めに設定します。

メモ　ビル用マルチの特性について

室内ユニットの運転台数変化時や運転モード変化時に、**吹出空気温度が変化**し室内温度が変わる場合があります。このような場合は次のように設定してください。

- **冷房**のとき:温度設定値を少し下げてください。
- **暖房**のとき:温度設定値を少し上げてください。

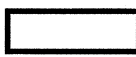
各部のなまえと安全注意事項の表示

室内ユニット

● お買い上げのエアコンにはお使いになる方が安全にお使いいただくため、エアコン本体に安全注意事項の表示をしています。ご使用の際やお手入れの際は安全のため、注意事項を必ずお守りください。

型式:RPK-AP22K ～ AP45K, RPK-AP22KH ～ AP36KH

安全注意事項	表示内容
感電注意	感電の恐れあり　アース線を外さないでください。
経年劣化に係る安全上の表示	※本製品(パッケージエアコン)は、業務用エアコンです。下記の【設計上の標準使用期間】は、家庭用として ご使用された場合を想定して表示をしています。 ※【設計上の標準使用期間】 10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

安全注意事項の表示個所	●上図中の □ に示す位置に貼り付けています。

各部のなまえと安全注意事項の表示(つづく)

型式:RPK-AP50K ～ AP63K

安全注意事項	表示内容
感電注意	感電の恐れあり　アース線を外さないでください。
経年劣化に係る安全上の表示	※本製品(パッケージエアコン)は、業務用エアコンです。下記の【設計上の標準使用期間】は、家庭用として ご使用された場合を想定して表示をしています。 ※【設計上の標準使用期間】 10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

ご使用の前に

風向調節羽根

空気吸込口

感電注意

前面パネル

表示部

ユニット本体

フラットパネル

エアーフィルター
(フラットパネルのうしろに挿入されています。)

受光部

空気吹出口

経年劣化に係る安全上の表示
- 左の底面に貼り付けています。
- 製造年は、仕様銘板に表示しています。

製品の型式の表示個所
- 左の側面に貼り付けた**仕様銘板に表示**しています。
- 製品に添付の型式銘板を**リモコンスイッチのふたの裏側など**に貼り付けてください。

リモコンスイッチ(別売)

表示部

タイマー　フィルタ/除霜　運転/受信

安全注意事項の表示個所	●上図中の □ に示す位置に貼り付けています。

各部のなまえと安全注意事項の表示(つづき)

型式:RPK-AP71K ～ AP112K

安全注意事項	表示内容
回転物警告	⚠警告 ケガの恐れあり 指や棒を入れないでください。
感電注意	感電の恐れあり　アース線を外さないでください。
経年劣化に係る安全上の表示	※本製品(パッケージエアコン)は、業務用エアコンです。下記の【設計上の標準使用期間】は、家庭用としてご使用された場合を想定して表示をしています。 ※【設計上の標準使用期間】 10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

安全注意事項の表示個所	●上図中の ▭ に示す位置に貼り付けています。

【共通事項】

●シングル機、ファミリーマルチおよびビル用マルチ機の場合、ワイヤレスリモコンおよびワイヤードリモコンのどちらでも使用できます。ただし、集中制御機器への接続時、1台のワイヤレスリモコンで複数台運転時および、ワイヤードリモコンとワイヤレスリモコン併用時は制約がありますので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

●ワイヤードリモコン(PC-AR1, PC-ARF)使用時でも本体表示部のランプは点灯します。ただし、タイマー設定についてはワイヤードリモコン上の表示のみになります。

●同時ツイン機、同時トリプル機および同時フォー機の場合はワイヤードリモコンを使用してください。
ワイヤレスリモコン(PC-LH3A)を使用したい場合は、別売の受光部キットが必要になります。

●ワイヤレスリモコンとワイヤードリモコンを併用する場合は、別売の受光部キットを使用してください。

アメニティリモコンのなまえ

表示部

（下の表示は説明のため、すべてを表示しています。実際の運転時とは異なります。）

図はPC-AR1の場合を示します。

風量調節表示
（☞13ページ）

換気切換表示
（☞15ページ）

オートルーバー表示
（☞13, 16, 17ページ）

除霜表示
（☞34ページ）
冷暖房兼用型のみ表示します。

集中制御表示
別売の多機能集中コントローラー使用時に点灯します。

タイマー運転状態表示
（☞14ページ）

温度表示
（☞13ページ）

アラームコード表示
（☞35, 45, 46ページ）
この表示はエアコンの異常時に表示されます。

機能なし表示 機能がありません
本エアコンで使用できないスイッチを押したときに5秒間点滅表示されます。

ホットスタート表示 ホットスタート
（☞34ページ）
操作が制限されているときに表示されます。

操作制限表示 操作ロック
（☞19ページ）
操作が制限されているときに表示されます。

運転モード表示
（☞12ページ）
暖房表示は冷暖房兼用型のみ表示します。

冷暖自動モード表示
（☞15ページ）
冷暖房兼用型のみ表示します。

運転ランプ（赤色）

アラーム表示
（☞35, 45, 46ページ）

フィルター清掃表示
（☞34, 39, 40ページ）

送風 冷房 暖房 ドライ 急風 強風 弱風 風向 除霜中 集中制御 空調＋換気 入切タイマー アドレス 系統k時間 設定温度 ℃ % 台 機能がありません 操作ロック ホットスタート サービス アラーム 昇降 フィルタ 試運転 点検 リモコンサーモ

運転/停止　温度調節

操作部

（上の図はふたを開けた状態を示しています。）

運転/停止スイッチ
（☞12ページ）

風量スイッチ
（☞13ページ）

運転切換スイッチ
（☞12ページ）

昇降スイッチ
本エアコンでは使用できません。

換気切換スイッチ
（☞15ページ）

オートルーバースイッチ
（☞16, 17ページ）

タイマー時間設定スイッチ
（☞14ページ）

温度調節スイッチ
（☞13ページ）

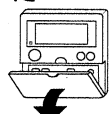
フィルターリセットスイッチ
（☞34, 39, 40ページ）

点検スイッチ
（☞13ページ）
このスイッチはサービスマン専用ですので押さないでください。

入/切タイマースイッチ
（☞14ページ）

運転切換　風量　入/切タイマー　リセット　昇降　換気切換　オートルーバ　時間設定　点検

ふたの開けかた

手前へ引く

留意事項

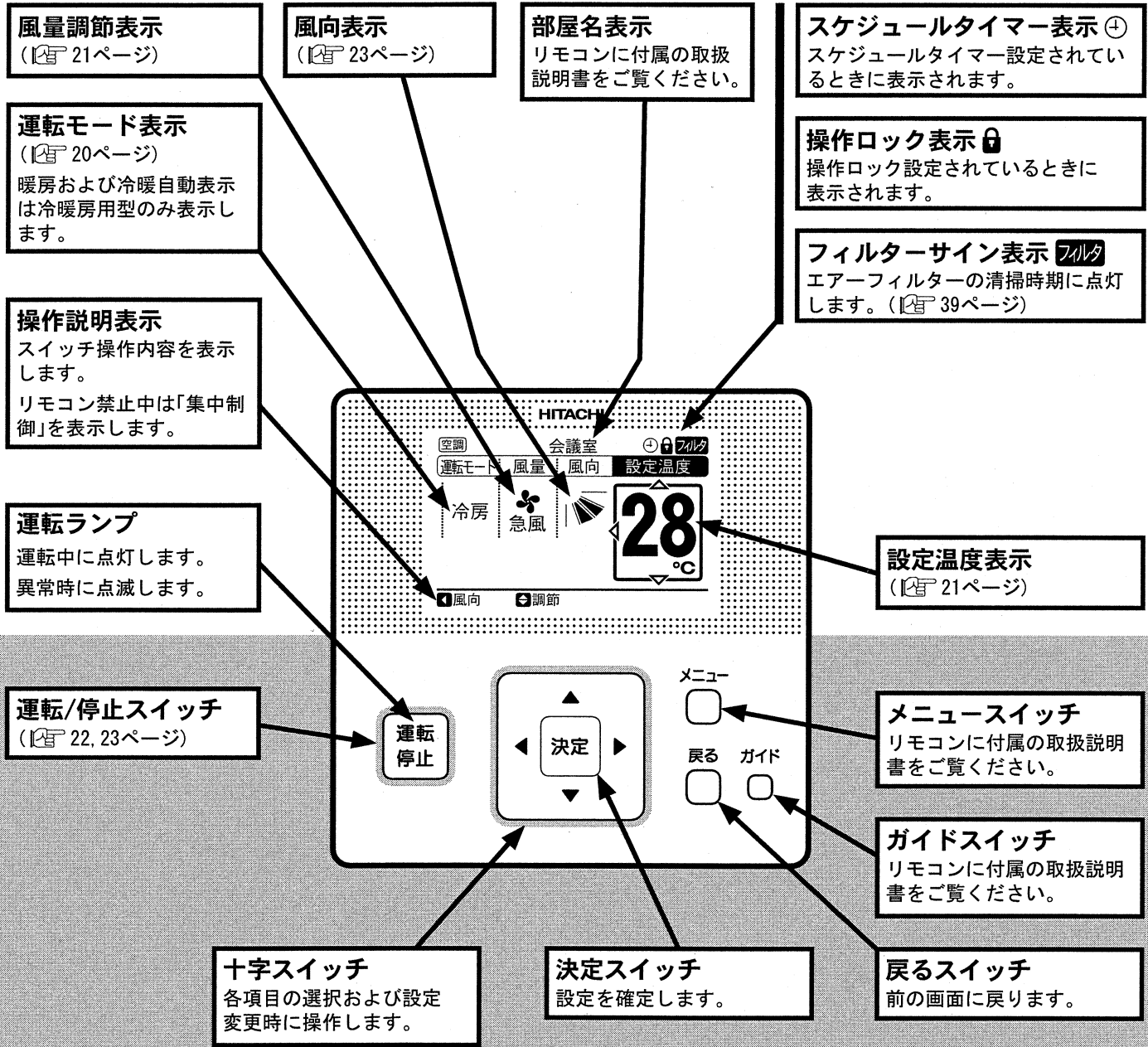
● リモコンスイッチの操作は**指で軽く押して**ください。
ボールペンなどの先のとがったもので操作すると**操作部の破損の原因**となることがあります。
● リモコンスイッチがPC-ARの場合は、上記 ホットスタート 表示が 運転制限中 表示になります。

ご使用の前に

多機能リモコンのなまえ

表示部

（下の表示は説明のため、画面は「運転操作画面」を表示しています。実際の運転時とは異なります。）

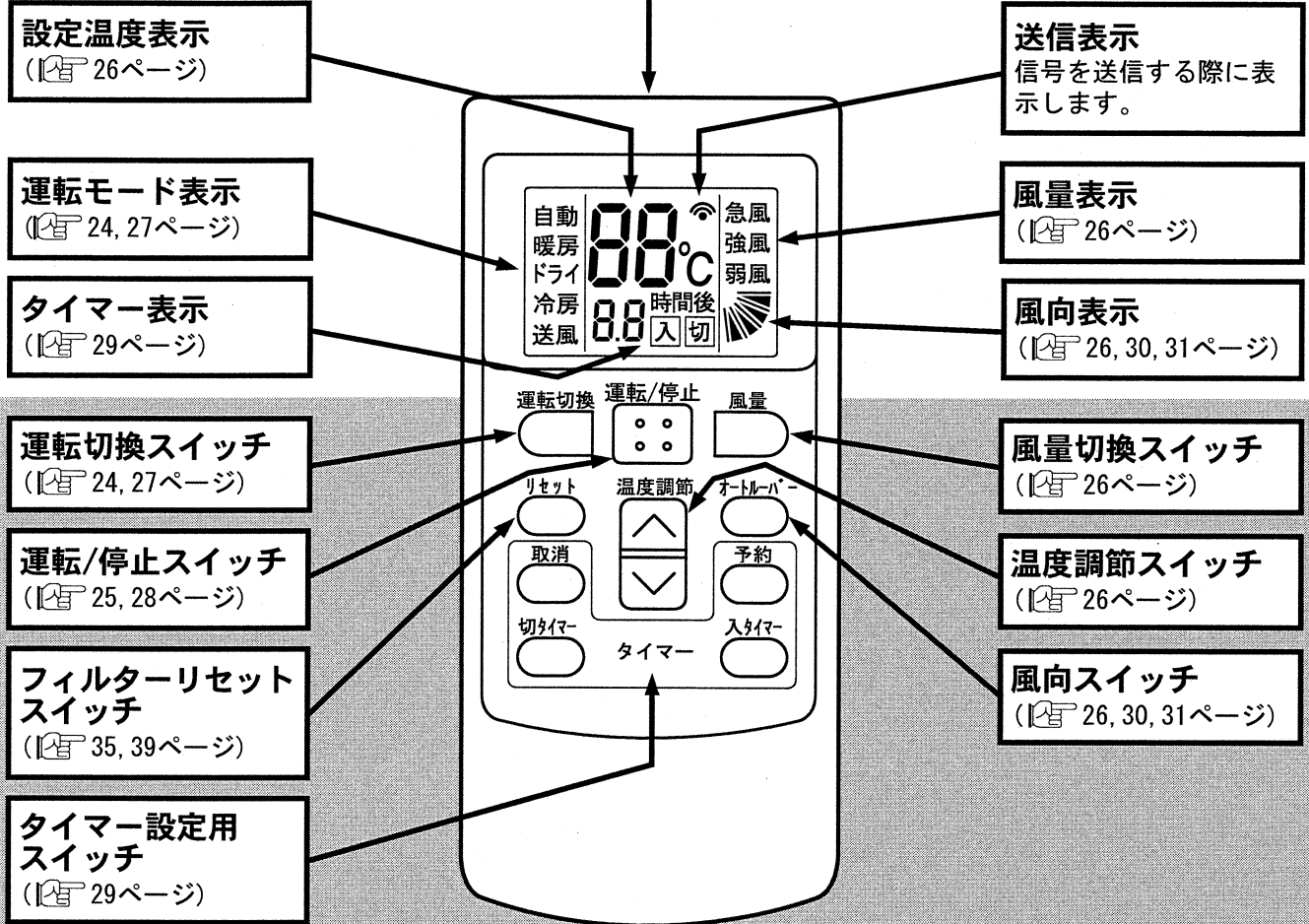
図はPC-ARFの場合を示します。

留意事項

- リモコンスイッチの操作は**指で軽く押して**ください。
  ボールペンなどの先のとがったもので操作すると**操作部の破損の原因**となることがあります。
- 詳細は、リモコンスイッチ付属の取扱説明書に従って操作してください。

ワイヤレスリモコンのなまえ

表示部

（下の表示は説明のため、すべてを表示しています。実際の運転時とは異なります。）

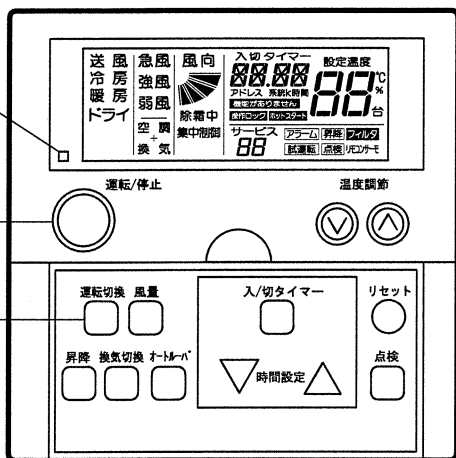
図はPC-LH3Aの場合を示します。

留意事項

- リモコンスイッチの操作は**指で軽く押して**ください。
  ボールペンなどの先のとがったもので操作すると**操作部の破損の原因**となることがあります。
- シングル機、ファミリーマルチおよびビル用マルチ機の場合、ワイヤレスリモコンが標準で使用できます。ただし、集中制御機器への接続時、1台のワイヤレスリモコンで複数台運転時およびワイヤードリモコンとワイヤレスリモコン併用時は制約がありますので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 同時ツイン機、同時トリプル機および同時フォー機に使用する場合は、別売の受光部キットが必要になります。

冷房・暖房・ドライ・送風運転のしかた

PC-AR1の場合

暖房運転は、[店舗/オフィス用冷暖房兼用機]、[ビル用マルチ冷暖房兼用機]のみの機能です。
[店舗/オフィス用冷房専用機]および[ビル用マルチ冷房専用機]は、暖房運転できません。

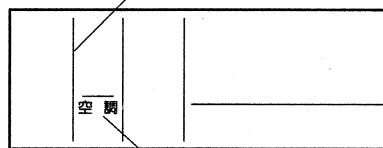
運転と働き

- **冷房運転** ・・・・・ お部屋の空気を冷やします。
- **暖房運転** ・・・・・ お部屋の空気を暖めます。
- **ドライ運転** ・・・ 通常の冷房運転より湿度を多めに取ります。
- **送風運転** ・・・・・ 室内の空気を循環させます。

メモ おすすめ**経済温度**は次のとおりです。

- 冷房運転・・・・・・・・・・・・・・・・27 ～ 29℃
- 暖房運転・・・・・・・・・・・・・・・・18 ～ 20℃
- ドライ運転・・・・・・・・・・・・・・23 ～ 25℃

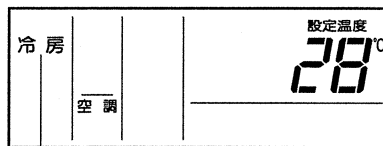
準備

電源を入れます。
圧縮機保護のため、運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。
シーズン中は電源を切らないでください。

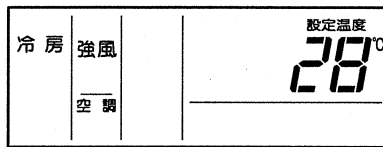
“液晶に仕切線が表示されます。”

“液晶に「運転対象」が表示されます。”

1

運転切換 **スイッチ**を押します。

運転切換 スイッチを押すごとに、→冷房→暖房→ドライ→送風 の順に表示されます。
(冷房専用型は →冷房→ドライ→送風)

(「冷房」モードに設定した場合を示します。)

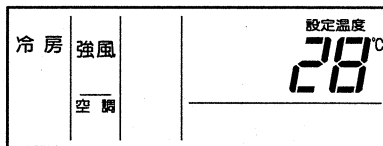
2

運転／停止 **スイッチ**を押します。
運転ランプが点灯します。
運転を開始します。

温度・風量・風向の設定

●一旦設定すると設定状態を記憶していますので**日常の設定は不要**です。設定を変更する場合は次のページの操作をしてください。

停止

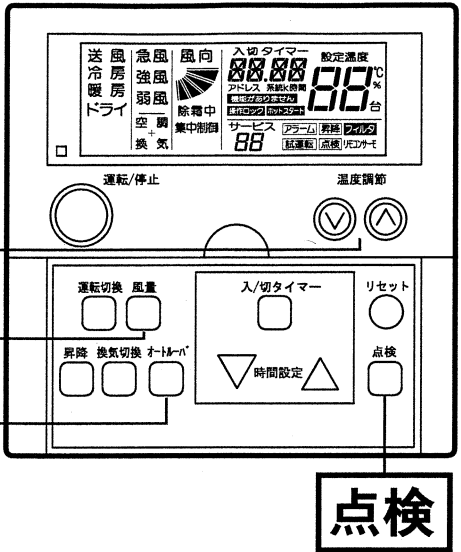
もう一度 運転／停止 **スイッチ**を押します。
運転ランプが消灯します。
運転を停止します。

冷房 強風 設定温度 28℃ 空調

●暖房運転停止後、約2分間送風運転することがあります。

運転のしかた

温度・風量・風向設定のしかた

PC-AR1の場合

メモ　点検 スイッチは触らないでください

● 点検 スイッチは**サービス専用**です。

●誤って押して点検モード（点検 が点灯）になったときは、もう一度 点検 スイッチを約3秒間押してください。
約10秒間おいてもう一度 点検 スイッチを押すと元の運転モード（点検 が消灯）に戻ります。

温度

温度調節 ⋁⋀ **スイッチ**を押します。

⋀ 部を押すごとに1℃ずつ上がります。
（最高30℃）

⋁ 部を押すごとに1℃ずつ下がります。

（冷房・ドライ・送風モード時．．．．．最低19℃
暖房モード時．．．．．．．．．．．．．．．．最低17℃）

（28℃に設定した場合を示します。）

留意事項

●機能選択で設定温度自動復帰設定時は、温度変更から一定時間経過後に自動的に温度が変わります。
●設定可能な温度の最高および最低値は、「機能選択の設定温度冷房下限値（または暖房上限値）設定」により変更することができます。
●機能選択の「設定温度自動復帰設定」、「設定温度冷房下限値（または暖房上限値）設定」については、お買い上げの店にご相談ください。

風量

風量 **スイッチ**を押します。

押すごとに、→急風→強風→弱風→ と表示が切り換わります。
通常は「強風」で使います。

（「強風」に設定した場合を示します。）

●ドライ運転時は自動的に「弱風」となり、風量の切り換えはできません（表示は設定状態のままです）。

風向

オートルーバ **スイッチ**を押します。

一度押すごとに、オートスイング⇔固定を繰り返します。

<固定の場合>

風の吹出状態を表示します。

<オートスイングの場合>

連続的に◀表示が移動します。

●暖房運転時は自動的に風向を変えます。（☞18ページ）

タイマー運転のしかた

PC-AR1の場合

運転と働き

- ご希望時間の経過後に運転を始めたり、止めたりする運転です。
- **入タイマー、切タイマーおよび入切タイマー**の3通りの設定ができます。

「入　タイマー」

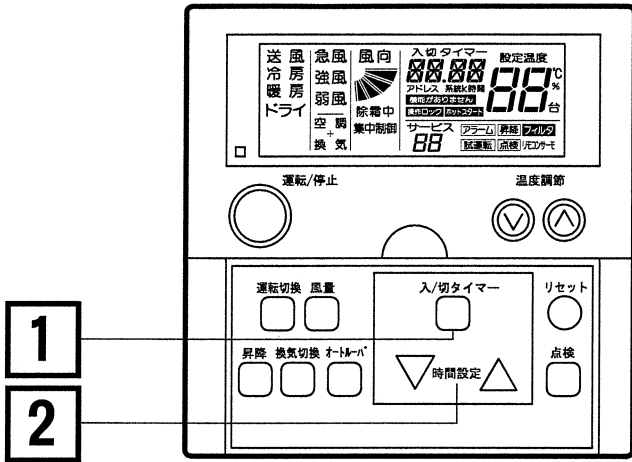
エアコンの**停止中**にスイッチを押します。
セットした時間経過後から運転が始まります。

「切タイマー」

エアコンの**運転中**にスイッチを押します。
セットした時間経過後に運転が止まります。

「入切タイマー」

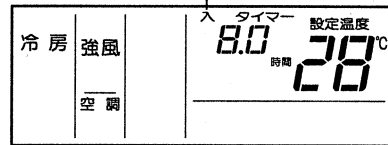
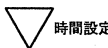
入タイマー（切タイマー）**設定中**にスイッチを押します。

入タイマー（切タイマー）でセットした時間の経過後に運転が始まり（止まり）、切タイマー（入タイマー）でセットした時間の経過後に運転が止まり（始まり）ます。

1

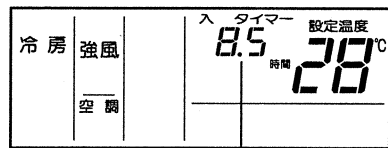
入/切タイマー **スイッチ**を押します。

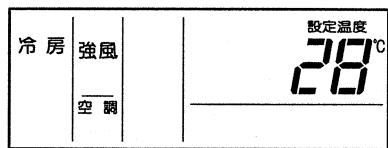
停止中に押すと「入　タイマー」、運転中に押すと「切タイマー」が表示されます。

「入切タイマー」設定した場合は、スイッチを押すごとに「入　タイマー」と「切タイマー」の表示が切り換わります。

（入タイマーを設定した場合を示します。）

2

▽時間設定△ **スイッチ**を押して時間を設定します。

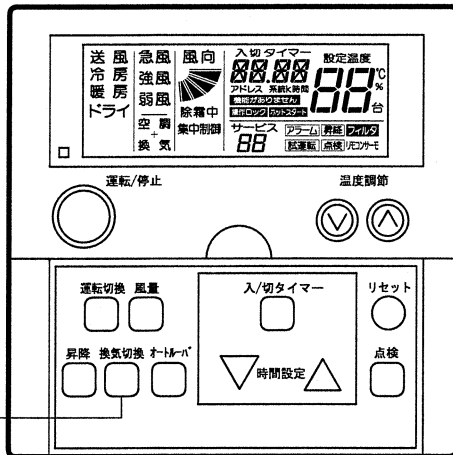
- △部を押すと0.5時間（30分）ずつ、最大72時間まで増えます。
  ▽部を押すと0.5時間（30分）ずつ、最小0.5時間まで減ります。
- 時間を設定しない場合は、自動的に8時間が設定されます。

（タイマー設定を8.5時間に設定した場合を示します。）

取り消し

入/切タイマー **スイッチ**を3秒間押します。

換気切換スイッチの設定のしかた

PC-AR1の場合

本機能は、全熱交換器と連動する場合のみ有効です。全熱交換器が接続されていない場合に下記の操作をすると、機能がありません の文字が5秒間点滅表示されます。

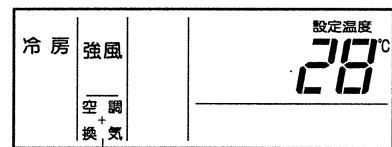
換気切換

運転と働き

- ●空調…… エアコンが単独で運転します。
- ●換気…… 全熱交換器が単独で運転します。
- ●空調＋換気…… エアコンと全熱交換器が連動運転します。

換気切換

換気切換 **スイッチ**を押します。

換気切換 スイッチを押すごとに、

→空調→換気→空調＋換気 の順に表示されます。

（エアコンと全熱交換器との連動に設定した場合を示します。）

●テレコントローラー制御を使用する場合は、エアコンと全熱交換器の連動に設定してください。
●CS-NETを接続する場合は、エアコン単独またはエアコンと全熱交換器の連動に設定してください。

詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

冷暖自動運転について

冷暖自動運転は、[店舗/オフィス用冷暖房兼用機]、[ビル用マルチ冷暖同時機]のみの機能です。[個別ツイン、トリプル、フォー]、[ファミリーマルチ]、[店舗/オフィス用冷房専用機]および[ビル用マルチ標準機・冷房専用機]などでは冷暖自動運転できません。
また、本機能は、冷・暖房で温度変化が大きく、精密な温度・湿度の調整が必要な部屋の空調には使用できません。

冷暖自動運転は、機能選択にて設定する必要があります。
詳しくは、お買い上げの店にご相談ください。

運転と働き

●**冷暖自動運転** …ご希望の温度を基準にして、自動的に「冷房」と「暖房」を切り換える運転です。

●吸込空気温度が設定温度より約3℃高いと「冷房」に、約3℃低いと「暖房」へと自動的に切り換わります。

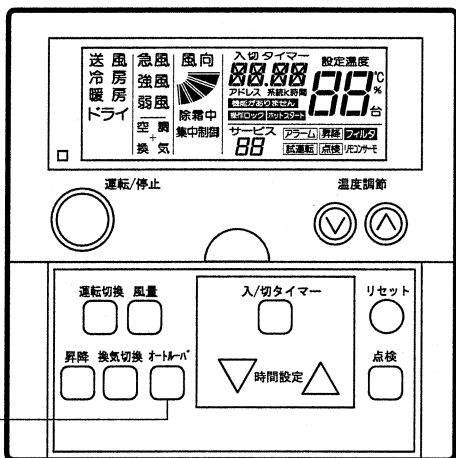
メモ

●「弱風」で暖房運転すると、保護装置などが作動して運転停止しやすくなります。このようなときは「急風」または「強風」でお使いください。

●外気温度が高く（約21℃以上）なると暖房運転はできません。

風向の調節のしかた（つづく）

PC-AR1の場合

●上下方向の風向調節

運転と働き

●風の吹き出し方向をご希望の角度にする運転です。
●風の吹き出し方向の設定は、次の2通りがあります。

固定
ご希望の角度に風向を固定することができます。

オートスイング
連続的に風向を変えることができます。

1	オートルーバ **スイッチ**を押します。 一度押すごとに固定とオートスイングを繰り返します。	固定・・・・表示が停止します。 オートスイング・・・表示が連続的に変化します。

固定の方法
(22～45型)

オートスイングさせ、**液晶表示が希望する吹出角度へきたら**再度 オートルーバ **スイッチ**を押します。

（冷房およびドライ運転のときは⑥、⑦の位置で押しても、自動的に⑤の位置に固定されます。）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
液晶表示							
風の吹出角度	約20°	約25°	約30°	約35°	約40°	約45°	約50°
冷房、送風、ドライ			適正角度	送風時固定可能範囲（①～⑦）			
	冷房、ドライ時固定可能範囲（①～⑤）						
風の吹出角度	約30°	約33°	約37°	約40°	約43°	約46°	約50°
暖房	暖房時固定可能範囲（①～⑦）						適正角度

固定の方法
(50～63型)

オートスイングさせ、**液晶表示が希望する吹出角度へきたら**再度 オートルーバ **スイッチ**を押します。

（冷房およびドライ運転のときは⑥、⑦の位置で押しても、自動的に⑤の位置に固定されます。）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
液晶表示							
風の吹出角度	約30°	約40°	約45°	約50°	約55°	約60°	約70°
送風	適正角度	送風時固定可能範囲（①～⑦）					
風の吹出角度	約30°	約35°	約38°	約40°	約45°		
冷房、ドライ	適正角度	冷房、ドライ時固定可能範囲（①～⑤）					
風の吹出角度	約45°	約48°	約50°	約53°	約55°	約57°	約60°
暖房	暖房時固定可能範囲（①～⑦）						適正角度

風向の調節のしかた(つづき)

PC-AR1の場合

固定の方法
(71～112型)

オートスイングさせ、**液晶表示が希望する吹出角度へきたら**再度［オートルーバ］**スイッチ**を押します。

(冷房およびドライ運転のときは⑥、⑦の位置で押しても、自動的に⑤の位置に固定されます。)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
液晶表示							
風の吹出角度	約20°	約22°	約30°	約37°	約45°	約52°	約60°
送風	適正角度		送風時固定可能範囲				
風の吹出角度	約20°	約22°	約30°	約37°	約45°		
冷房、ドライ	適正角度	冷房、ドライ時固定可能範囲					
風の吹出角度	約30°	約32°	約38°	約43°	約50°	約55°	約60°
暖房			暖房時固定可能範囲				適正角度

- ●液晶表示の羽根の位置と、エアコンの風向調節羽根の位置はオートスイング時に必ずしも一致しません。固定する場合は液晶表示の位置を見て風向角度を設定してください。
- ●スイッチを押しても羽根がすぐにスイングおよび停止しないことがあります。
- ●暖房時のオートスイング幅は、吹出空気が吸込口へ吸い込まれるのを防止するため、ルーバーの可動範囲が冷房時に比べ小さくなっています。
- ●風向調節羽根は、オートスイング時に次の周期でスイングを繰り返します。
  22～45型　:冷房・ドライ時約19秒、暖房時約19秒、送風時約25秒
  50～63型　:冷房・ドライ時約15秒、暖房時約13秒、送風時約27秒
  71～112型 :冷房・ドライ時約17秒、暖房時約24秒、送風時約27秒

●左右方向の風向調節

図のようにたて羽根を持って左右の方向を調節します。

22～63型の場合

71～112型の場合

留意事項

●たて羽根のうち、向かって左端の1枚は飾り用のため動きません。(50～63型の場合)

●風向の自動セット(横羽根)について

●運転を停止すると、自動的に羽根は閉じた状態で停止します。

22～63型の場合

71～112型の場合

風向の調節のしかた

PC-AR1の場合

●暖房運転時、自動的に風向を変えます

暖房運転は[店舗/オフィス用冷暖房兼用機]、[ビル用マルチ冷暖房兼用機]および[ビル用マルチ冷暖同時機]のみの機能です。
[店舗/オフィス用冷房専用機]および[ビル用マルチ冷房専用機]は、暖房運転できません。

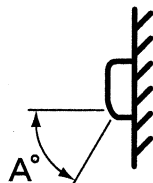
- **暖房**運転開始時
- **除霜**運転中
- **温度**調節器作動時

自動的に吹出角度を**A°**に**固定**します。

液晶表示は設定したままの状態で変化しません。

型式	A°
22 ～ 45型	20
50 ～ 63型	30
71 ～ 112型	20

吹出温度が**30℃以上**に上がると自動的にお客様が設定された状態に戻ります。

留意事項

●上下風向調節羽根は絶対に手で動かさないでください。
内部で連結されたオートルーバー機構が破損し、風向設定ができない原因になることがあります。

22 ～ 63型の場合　　**71 ～ 112型の場合**

操作ロックの設定のしかた

PC-AR1の場合

運転と働き

●リモコンスイッチのスイッチ操作を無効にさせる機能です。

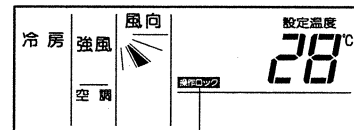
●以下の5種類のスイッチ操作を無効にできます。

(1)「運転切換」
(2)「温度調節」
(3)「風量」
(4)「オートルーバー」
(5)「入/切タイマー」

運転のしかた

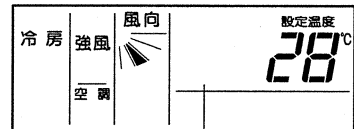
1

〈操作ロックの設定〉

▽時間設定△ **スイッチ**を同時に3秒押します。
操作ロック の文字が点灯し、操作制限が有効になります。
操作ロックで制限されているスイッチを操作した場合、操作ロック の文字が点滅します。

(操作ロックの機能有効で 操作ロック の文字が点灯します。)

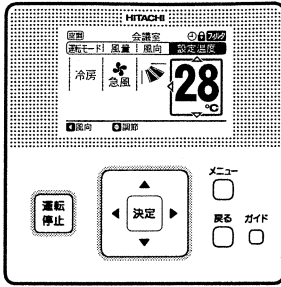
2

〈操作ロックの解除〉

▽時間設定△ **スイッチ**を同時に3秒押します。
操作ロック の文字が消灯し、操作制限が無効になります。

(操作ロックの機能無効で 操作ロック の文字が消灯します。)

●▽時間設定△ スイッチを同時に3秒間押すごとに、操作制限の「有効⇔無効」が切り換わります。
●操作ロックで無効化するスイッチは、機能選択で選択することができます。詳しくはお買い上げの店にご相談ください。

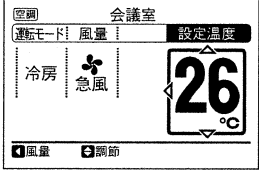
基本の操作

PC-ARFの場合

項目の選択	『◁』または『▷』**スイッチ**を押すごとに、〔 〕の枠が 運転モード 風量 風向 設定温度 と移動します。		
設定の変更	項目を選択した状態で、『△』または『▽』**スイッチ**を押すと設定内容が切り換わります。		

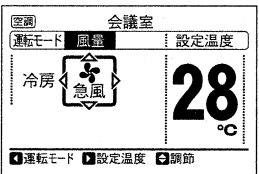
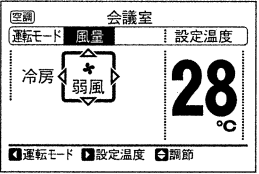
冷房・暖房・ドライ・冷暖自動・送風運転のしかた

PC-ARFの場合

暖房運転は、[店舗/オフィス用冷暖房兼用機]、[ビル用マルチ冷暖房兼用機]のみの機能です。
[店舗/オフィス用冷房専用機]および[ビル用マルチ冷房専用機]は、暖房運転できません。

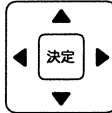
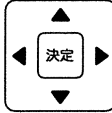
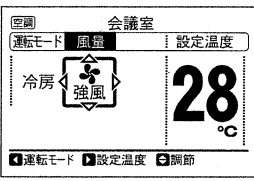
準備	**電源**を入れます。 圧縮機保護のため、運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。 シーズン中は電源を切らないでください。		接続確認中です ・・・・・●●●●・
1	『◁』または『▷』**スイッチ**で 運転モード を選択します。		
2	『△』または『▽』**スイッチ**を押すごとに 冷房⇔暖房⇔ドライ⇔(冷暖自動)⇔送風 の順に切り換わります。		

●「冷暖自動」の使用については別途設定が必要です。詳しくはお買い上げの店にご相談ください。

温度設定のしかた

PC-ARFの場合

1	『◁』または『▷』**スイッチ**で 設定温度 を選択します。		
2	『△』**スイッチ**を押すごとに1℃ずつ上がります。(最高30℃) 『▽』**スイッチ**を押すごとに1℃ずつ下がります。 (冷房・ドライ・送風モード時……最低19℃ 暖房モード時……………………最低17℃)		

●最高および最低温度は、機能選択の設定温度冷房下限値（または暖房上限値）設定により変更することができます。

風量設定のしかた

PC-ARFの場合

1	『◁』または『▷』**スイッチ**で 風量 を選択します。		
2	『△』または『▽』**スイッチ**を押すごとに 左図のように切り換わります。		

●ドライ運転時は自動的に「弱風」になり、風量の切り換えはできません(表示は設定状態のままです)。

運転のしかた

PC-ARFの場合

運転	[運転停止] **スイッチ**を押します。 運転ランプが点灯します。 運転を開始します。		

温度・風量の設定　●一旦設定すると設定状態を記憶していますので日常の設定は不要です。設定を変更する場合は前ページの操作をしてください。

停止	もう一度 [運転停止] **スイッチ**を押します。 運転ランプが消灯します。 運転を停止します。		

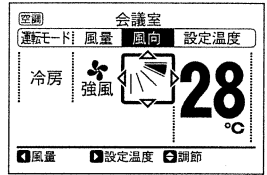
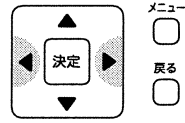
●暖房運転停止後、約2分間送風運転することがあります。

風向設定のしかた

PC-ARFの場合

1

運転停止 **スイッチ**を押して運転を開始した後、『◁』または『▷』**スイッチ**で 風向 を選択します。

2

『△』または『▽』**スイッチ**を押すごとに吹き出し角度が切り換わります。

《22 ～ 45型》

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
液晶表示								
風の吹出角度	オートスイング	約20°	約25°	約30°	約35°	約40°	約45°	約50°
冷房、送風、ドライ				適正角度	送風時固定可能範囲			
		冷房、ドライ時固定可能範囲						
風の吹出角度		約30°	約33°	約37°	約40°	約43°	約46°	約50°
暖房		暖房時固定可能範囲						適正角度

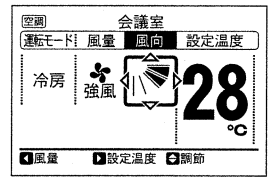
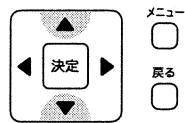
《50 ～ 63型》

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
液晶表示								
風の吹出角度	オートスイング	約30°	約40°	約45°	約50°	約55°	約60°	約70°
送風		適正角度	送風時固定可能範囲					
風の吹出角度		約30°	約35°	約38°	約40°	約45°		
冷房、ドライ		適正角度	冷房、ドライ時固定可能範囲					
風の吹出角度		約45°	約48°	約50°	約53°	約55°	約57°	約60°
暖房		暖房時固定可能範囲						適正角度

《71 ～ 112型》

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
液晶表示								
風の吹出角度	オートスイング	約20°	約22°	約30°	約37°	約45°	約52°	約60°
送風		適正角度	送風時固定可能範囲					
風の吹出角度		約20°	約22°	約30°	約37°	約45°		
冷房、ドライ		適正角度	冷房、ドライ時固定可能範囲					
風の吹出角度		約30°	約32°	約38°	約43°	約50°	約55°	約60°
暖房		暖房時固定可能範囲						適正角度

（冷房およびドライ運転のときは⑥、⑦の位置で押しても、自動的に⑤の位置に固定されます。）

でオートスイングを開始します。このとき、液晶表示はスイングを繰り返します。

『△』または『▽』**スイッチ**と液晶表示（吹出角度）の関係は下記のとおりになっています。

液晶表示	
	オートスイング
▽-△	①
▽-△	②
▽-△	③
▽-△	④
▽-△	⑤
▽-△	⑥
▽-△	⑦

●液晶表示の羽根の位置と、エアコンの風向調節羽根の位置はオートスイング時に必ずしも一致しません。固定する場合は液晶表示の位置を見て風向角度を設定してください。

●スイッチを押しても羽根がすぐにスイングおよび停止しないことがあります。

●暖房時のオートスイング幅は、吹出空気が吸込口へ吸い込まれるのを防止するため、ルーバーの可動範囲が冷房時に比べ小さくなっています。

●風向調節羽根は、オートスイング時に次の周期でスイングを繰り返します。

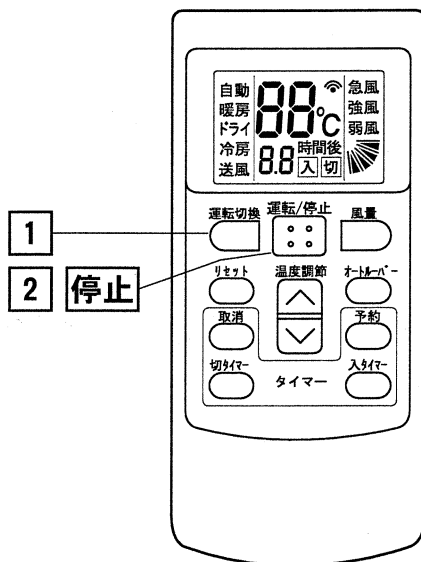
22 ～ 45型　:冷房・ドライ時約19秒、暖房時約19秒、送風時約25秒
50 ～ 63型　:冷房・ドライ時約15秒、暖房時約13秒、送風時約27秒
71 ～ 112型　:冷房・ドライ時約17秒、暖房時約24秒、送風時約27秒

[シングル機]、[個別ツイン機]、[個別トリプル機]、[個別フォー機]、[ファミリーマルチ]および[ビル用マルチ機]にワイヤレスリモコンを使用する場合を示します。
[同時ツイン機]、[同時トリプル機]および[同時フォー機]にワイヤレスリモコンを使用する場合は、別売の受光部キットが必要となります。

運転と働き

- **冷房運転** ・・・・・ お部屋の空気を冷やします。
- **暖房運転** ・・・・・ お部屋の空気を暖めます。
- **ドライ運転** ・・・ 通常の冷房運転より湿度を多めに取ります。
- **送風運転** ・・・・・ 室内の空気を循環させます。

メモ おすすめ**経済温度**は次のとおりです。

- 冷房運転・・・・・・・・・・・27～29℃
- 暖房運転・・・・・・・・・・・18～20℃
- ドライ運転　・・・・・・・・・23～25℃

準備

エアコンの**電源**を入れます。
圧縮機保護のため、運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。
シーズン中は電源を切らないでください。

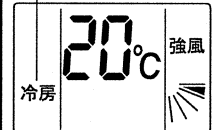
1

運転切換 **スイッチ**を押します。
ボタンを押すごとに、

┌暖房→ドライ→冷房→送風┐

の順で変わります。

留意事項
- 冷房専用機の場合は、自動および暖房のモードを選択しないでください。

(冷房モードに設定した場合を示します。)

停止時、設定温度・風量・風向の表示は10秒間無操作で消灯します。

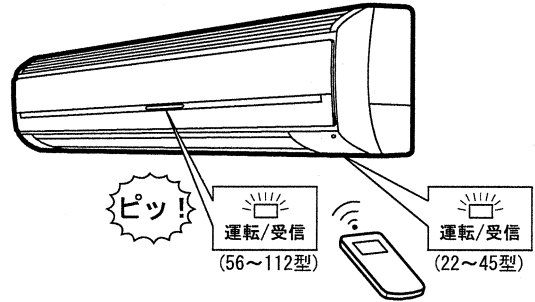
- 自動モードでの運転について。(☞ 27ページ)

留意事項 全操作共通

- ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、受信確認時、ユニット本体からブザーが鳴ります。

冷房・暖房・ドライ・送風運転のしかた(つづき)

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

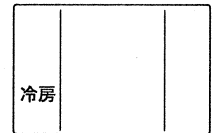
2	ワイヤレスリモコンの送信部をユニット本体の受光部に向けて、[運転/停止] **スイッチ**を押します。 ワイヤレスリモコン液晶表示部の送信マーク“ ”点滅と共にユニット本体表示部の[運転/受信]ランプ(赤色)が点灯し、ブザーが鳴ります。 運転を開始します。

図は71 ～ 112型を示します。

留意事項

- [運転/停止] スイッチの操作は3秒以上間隔をあけて操作してください。
間隔が短いと、作動しない場合があります。

温度・風量・風向の設定

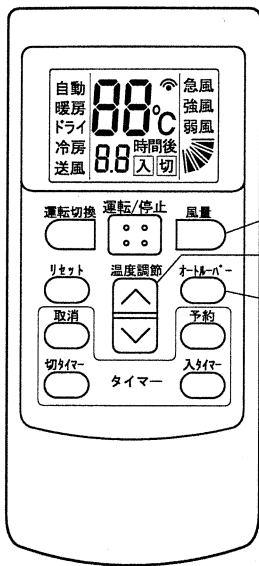
- 一旦設定すると設定状態を記憶していますので**日常の設定は不要**です。設定を変更する場合は次のページ(温度・風量・風向設定のしかた)の操作をしてください。

停止	ワイヤレスリモコンの送信部をユニット本体の受光部に向けて、もう一度[運転/停止] **スイッチ**を押します。 ワイヤレスリモコン液晶表示部の送信マーク“ ”点滅と共にユニット本体表示部の[運転/受信]ランプ(赤色)が消灯し、ブザーが鳴ります。 ワイヤレスリモコン液晶表示部の設定温度、風量および風向の表示が消灯します。 運転を停止します。	 設定温度・風量・風向の表示が消灯します。

- 暖房運転停止後、約2分間送風運転することがあります。

温度・風量・風向設定のしかた

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

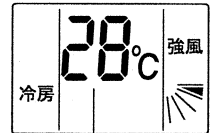
メモ

●運転中にワイヤレスリモコンのスイッチを押すと、ワイヤレスリモコン液晶表示部の送信マーク" "が点滅し、ブザーが鳴ります。

温度

ワイヤレスリモコンの送信部をユニット本体の受光部に向けて、

温度調節 **スイッチ**を押して温度を設定します。

∧部を押すごとに1℃ずつ上がります。(最高30℃)

∨部を押すごとに1℃ずつ下がります。(最低17℃)

(冷房運転で28℃に設定した場合を示します。)

風量

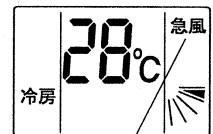
ワイヤレスリモコンの送信部をユニット本体の受光部に向けて、

風量 **スイッチ**を押します。

ボタンを押すごとに、

→急風→強風→弱風─┐

の順で変わります。

通常は「強風」で使用します。

(冷房運転で急風に設定した場合を示します。)

●ドライ運転時は自動的に「弱風」となり、風量の切り換えはできません。

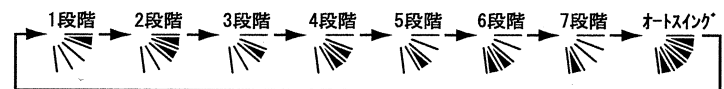
風向

ワイヤレスリモコンの送信部をユニット本体の受光部に向けて、

オートルーバー **スイッチ**を押します。

風向の停止位置およびオートルーバーの設定をします。

オートルーバー スイッチを押すごとに、

→1段階→2段階→3段階→4段階→5段階→6段階→7段階→オートスイング─┐

の順に風向が切り換わります。

冷房およびドライは5段階になります。

●暖房運転時は自動的に風向を変えます。(☞ 32ページ)

冷暖自動運転のしかた

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

冷暖自動運転は[店舗/オフィス用冷暖房兼用機]および[ビル用マルチ冷暖同時機]のみの機能です。[個別ツイン機]、[トリプル機]、[フォー機]、[ファミリーマルチ]、[店舗/オフィス用冷房専用機]および[ビル用マルチ標準機・冷房専用機]では冷暖自動運転できません。
また、本機能は、冷・暖房で温度変化が大きく、精密な温度・湿度の調整が必要な部屋の空調には使用できません。

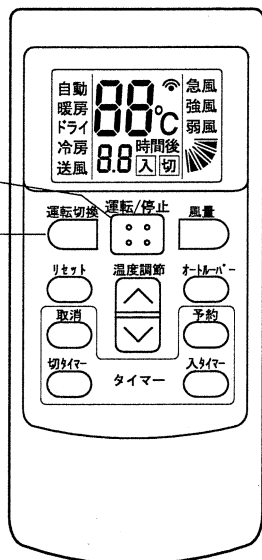
運転と働き

- **冷暖自動運転** … ご希望の温度を基準にして、自動的に「冷房」と「暖房」を切り換える運転です。
- 吸込空気温度が設定温度より約3°C高いと「冷房」に、約3°C低いと「暖房」へと自動的に切り換わります。

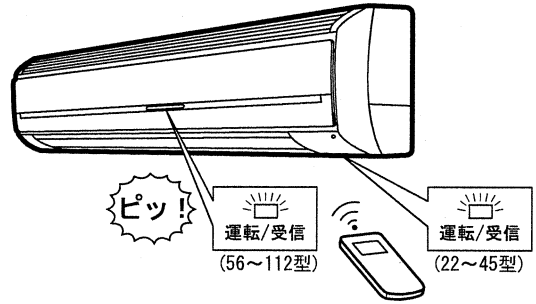
メモ

- 「弱風」で暖房運転すると、保護装置などが作動して運転停止しやすくなります。このようなときは「急風」または「強風」でお使いください。
- 外気温度が高く(約21°C以上)なると暖房運転はできません。

準備	**電源**を入れます。 圧縮機保護のため、運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。 シーズン中は電源を切らないでください。
1	運転切換 **スイッチ**を3秒以上押し続けると「自動」に切り換わります。 また、「自動」の状態から 運転切換 **スイッチ**を押すと「送風」になります。

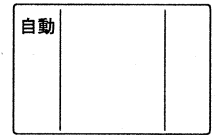
停止時、設定温度・風量・風向の表示は10秒間無操作で消灯します。

運転のしかた

冷暖自動運転のしかた

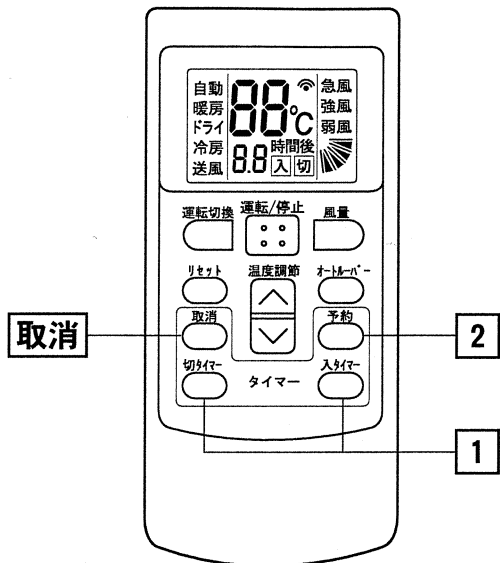
PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

2	ワイヤレスリモコンの送信部をユニット本体の受光部に向けて、運転/停止 スイッチを押します。 ワイヤレスリモコン液晶表示部の送信マーク" "点滅と共にユニット本体表示部の 運転/受信 ランプ(赤色)が点灯し、ブザーが鳴ります。 運転を開始します。 図は71 ～ 112型を示します。 **留意事項** ● 運転/停止 スイッチの操作は3秒以上間隔をあけて操作してください。間隔が短いと、作動しない場合があります。

温度・風量・風向の設定

●設定を変更する場合。(☞26ページ)

停止	ワイヤレスリモコンの送信部をユニット本体の受光部に向けて、もう一度 運転/停止 スイッチを押します。 ワイヤレスリモコン液晶表示部の送信マーク" "点滅と共にユニット本体表示部の 運転/受信 ランプ(赤色)が消灯し、ブザーが鳴ります。 ワイヤレスリモコン液晶表示部の設定温度、風量および風向の表示が消灯します。 運転を停止します。	 設定温度・風量・風向の表示が消灯します。

●暖房運転停止後、約2分間送風運転することがあります。

タイマー運転のしかた

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

運転と働き

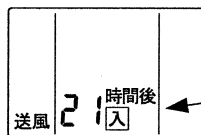
- ご希望時間の経過後に運転を始めたり、止めたりする運転です。
- **入タイマー**と**切タイマー**の2通りの設定ができます。

入タイマー

エアコンの**停止中**にスイッチを押します。
セットした時間経過後から運転が始まります。

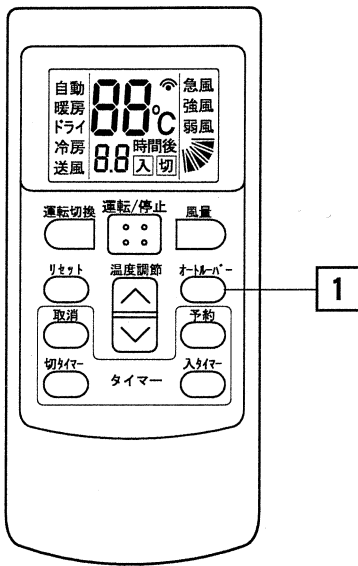
切タイマー

エアコンの**運転中**にスイッチを押します。
セットした時間経過後に運転が止まります。

1	入タイマー または 切タイマー **スイッチ**を押します。 入タイマー 切タイマー スイッチを押すごとに時間が変更します。 0.5時間(30分)きざみで10時間まで、10時間後は1時間きざみで最大23時間まで設定できます。	(21時間後を設定した場合を示します。) (入タイマー スイッチを押した場合を示します。)
2	ワイヤレスリモコンの送信部をユニット本体の受光部に向けて 予約 **スイッチ**を押します。 ワイヤレスリモコン液晶表示部の送信マーク“ ”点滅と共にユニット本体表示部の タイマー ランプ(緑色)が点灯し、ブザーが鳴り、タイマーの設定が完了します。	
取り消し	ワイヤレスリモコンの送信部をユニット本体の受光部に向けて 取消 **スイッチ**を押します。 ワイヤレスリモコン液晶表示部の送信マーク“ ”点滅と共にユニット本体表示部の タイマー ランプ(緑色)が消灯し、ブザーが鳴り、タイマー設定が解除されます。	

運転のしかた

風向の調節のしかた（つづく）

PC-LH3A（ワイヤレスリモコン）の場合

●上下方向の風向調節

メモ

- ●リモコンスイッチはユニット本体受光部に向けて操作してください。
- ●運転中にワイヤレスリモコンのスイッチを押すと、ワイヤレスリモコン液晶表示部の送信マーク“ ”点滅と共にブザーが鳴ります。

運転と働き

- ●風の吹出方向をご希望の角度にする運転です。
- ●風の吹出方向の設定は次の2通りがあります。

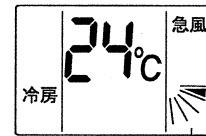
固　　定：ご希望の角度に風向を固定することができます。

オートスイング：連続的に風向を変えることができます。

1

オートルーバー スイッチを押します。

オートルーバー スイッチを押すごとに、

の順に風向が切り換わります。

（冷房運転・急風時に風向「1段階」に設定した場合を示します。）

固定の方法（22 ～ 45型）

オートルーバー スイッチを押して、希望する吹出角度に設定することにより、右表のように風の吹き出し角度を設定できます。

（冷房およびドライ運転のときは①～⑤までの表示になります。⑥と⑦は表示しません。）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
液晶表示							
風の吹出角度	約20°	約25°	約30°	約35°	約40°	約45°	約50°
冷房、送風、ドライ			適正角度	送風時固定可能範囲（①～⑦）			
	冷房、ドライ時固定可能範囲（①～⑤）						
風の吹出角度	約30°	約33°	約37°	約40°	約43°	約46°	約50°
暖房	暖房時固定可能範囲（①～⑦）						適正角度

固定の方法（50 ～ 63型）

オートルーバー スイッチを押して、希望する吹出角度に設定することにより、右表のように風の吹き出し角度を設定できます。

（冷房およびドライ運転のときは①～⑤までの表示になります。⑥と⑦は表示しません。）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
液晶表示							
風の吹出角度	約30°	約40°	約45°	約50°	約55°	約60°	約70°
送風	適正角度	送風時固定可能範囲（①～⑦）					
風の吹出角度	約30°	約35°	約38°	約40°	約45°		
冷房、ドライ	適正角度	冷房、ドライ時固定可能範囲（①～⑤）					
風の吹出角度	約45°	約48°	約50°	約53°	約55°	約57°	約60°
暖房	暖房時固定可能範囲（①～⑦）						適正角度

風向の調節のしかた(つづき)

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

固定の方法
(71 ～ 112型)

オートルーバー スイッチを押して、希望する吹出角度に設定することにより、右表のように風の吹き出し角度を設定できます。

(冷房およびドライ運転のときは①～⑤までの表示になります。⑥と⑦は表示しません。)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
液晶表示							
風の吹出角度	約20°	約22°	約30°	約37°	約45°	約52°	約60°
送風	適正角度	送風時固定可能範囲					
風の吹出角度	約20°	約22°	約30°	約37°	約45°		
冷房、ドライ	適正角度	冷房、ドライ時固定可能範囲					
風の吹出角度	約30°	約32°	約38°	約43°	約50°	約55°	約60°
暖房	暖房時固定可能範囲						適正角度

- 液晶表示の羽根の位置と、エアコンの風向調節羽根の位置はオートスイング時に必ずしも一致しません。固定する場合は液晶表示の位置を見て風向角度を設定してください。
- スイッチを押しても羽根がすぐにスイングおよび停止しないことがあります。
- 暖房時のオートスイング幅は、吹出空気が吸込口へ吸い込まれるのを防止するため、ルーバーの可動範囲が冷房時に比べ小さくなっています。
- 風向調節羽根は、オートスイング時に次の周期でスイングを繰り返します。
  22 ～ 45型　:冷房・ドライ時約19秒、暖房時約19秒、送風時約25秒
  50 ～ 63型　:冷房・ドライ時約15秒、暖房時約13秒、送風時約27秒
  71 ～ 112型　:冷房・ドライ時約17秒、暖房時約24秒、送風時約27秒

●左右方向の風向調節

図のようにたて羽根を持って左右の方向を調節します。

22 ～ 63型の場合

71 ～ 112型の場合

留意事項
- たて羽根のうち、向かって左端の1枚は飾り用のため動きません。(50 ～ 63型の場合)

●風向の自動セット(横羽根)について

- 運転を停止すると、自動的に羽根は閉じた状態で停止します。

22 ～ 63型の場合

71 ～ 112型の場合

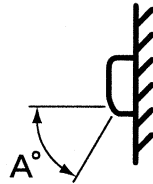
風向の調節のしかた

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

●暖房運転時、自動的に風向を変えます

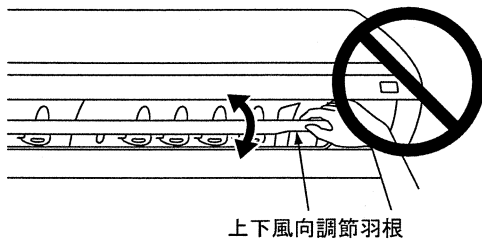
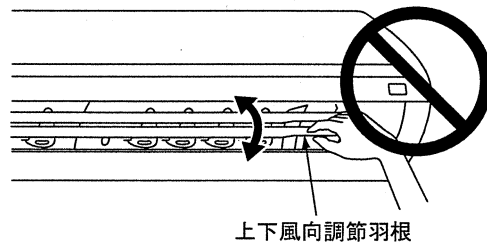
暖房運転は[店舗/オフィス用冷暖房兼用機]、[ビル用マルチ冷暖房兼用機]および[ビル用マルチ冷暖同時機]のみの機能です。
[店舗/オフィス用冷房専用機]および[ビル用マルチ冷房専用機]は暖房運転できません。

● **暖房**運転開始時
● **除霜**運転中
● **温度**調節器作動時

自動的に吹出角度を**A°**に**固定**します。

吹出温度が**30℃以上**に上がると自動的にお客様が設定された状態に戻ります。

液晶表示は設定したままの状態で変化しません。

型　式	A°
22 ～ 45 型	20
50 ～ 63 型	30
71 ～ 112 型	20

●上下風向調節羽根は絶対に手で動かさないでください。
内部で連結されたオートルーバー機構が破損し、風向設定ができない原因になることがあります。

22 ～ 63型の場合

71 ～ 112型の場合

応急運転のしかた

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

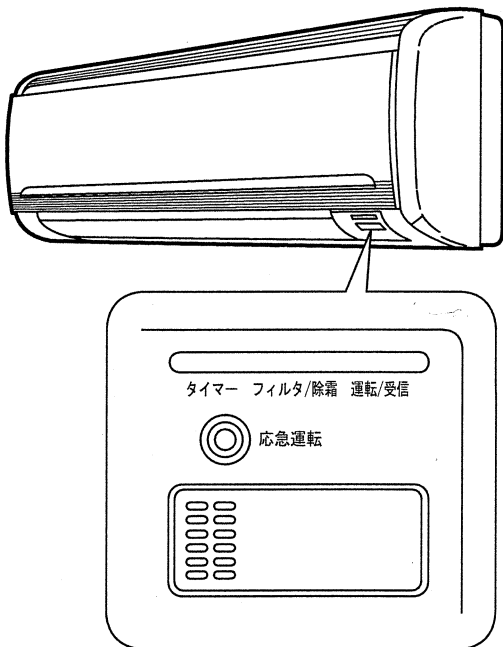
運転と働き

●すぐに運転したいが、電池切れなどでワイヤレスリモコンが使えない……。
こんなときに応急的に運転することができます。

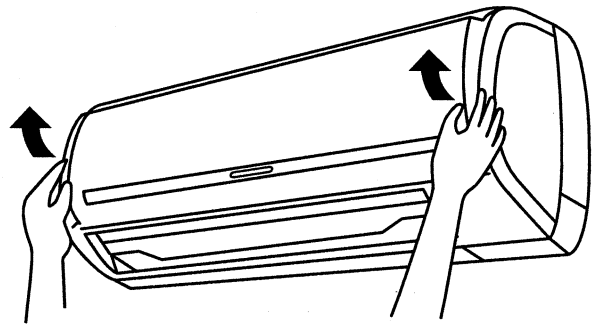
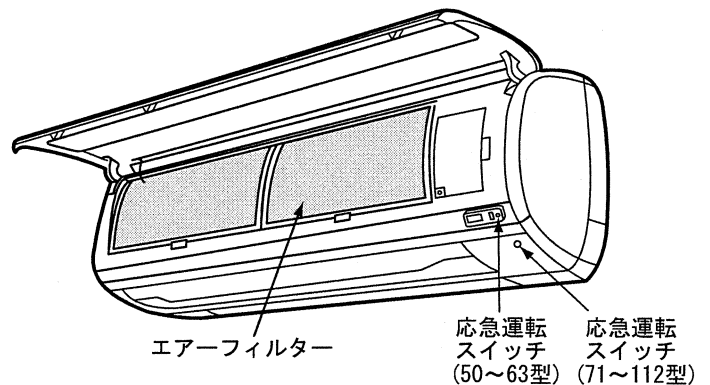
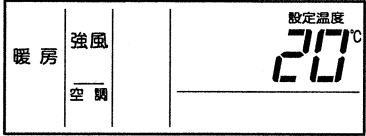
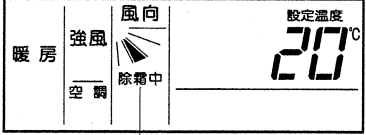
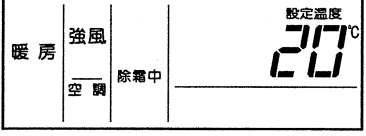
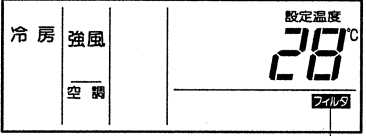
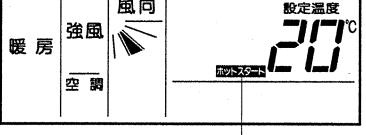
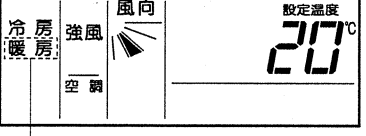
メモ 運転内容は次のとおりです。

●冷暖自動運転…… 設定温度:25℃
風量:急風
上下風向調節羽根:水平

●22 ～ 45型の場合

①マッチ棒などを使用して、応急運転スイッチを押してください。

●50 ～ 112型の場合

(図は56 ～ 63型を示します。)

①下図の矢印の位置(左右2ヵ所)をつかみ、フラットパネルを引き上げます。

②マッチ棒などを使用して、応急運転スイッチを押してください。

●応急運転中、もう一度応急運転スイッチを押すと、停止します。

留意事項

●シャープペン、針などの金属類で応急運転スイッチを押さないでください。
故障の原因になります。

その他の液晶表示について(つづく)

PC-AR1の場合

通常時の表示

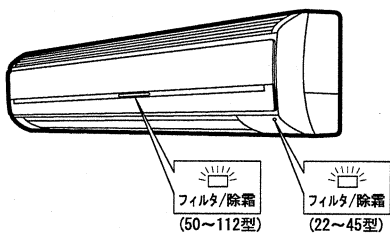
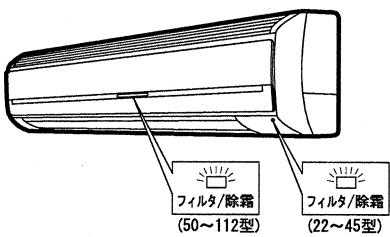
温度調節器	**温度調節器作動**のとき ●表示は変わりませんが、**弱風運転**になります。 (暖房運転時のみ)	暖房 強風 空調 設定温度 20℃
除霜 (冷暖房兼用機のみ) (ビル用マルチ冷暖同時機を含む)	**除霜運転**のとき ●「除霜中」が**点灯**します。 室内送風機は**停止**します。 風向調節羽根は**固定**されますが、液晶表示は動作を続けます。	暖房 強風 空調 風向 除霜中 設定温度 20℃ 点灯
	除霜運転中に運転を停止させたとき ●運転ランプは消えますが、「除霜中」の表示のまま運転は続行し、**除霜終了後に停止**します。	暖房 強風 空調 除霜中 設定温度 20℃
フィルター	**フィルターサイン** ●液晶表示の フィルタ が点灯し、エアーフィルターの清掃時期をお知らせします。 (☞ 39ページ) フィルターサインは積算運転200時間で点灯します。 掃除後 (リセット) スイッチを押すと表示は消えます。	冷房 強風 空調 設定温度 28℃ フィルタ 点灯
運転制御	**電源投入時** ● ホットスタート が**点灯**します。 圧縮機の予熱中です。最大で4時間運転できないことがありますので、冷暖房シーズン中は室外ユニットの電源を切らないでください。	冷房 強風 空調 風向 ホットスタート 設定温度 28℃ 点灯
	ホットスタートのとき ● ホットスタート が**点灯**します。 (暖房運転時のみ) (ホットスタート ☞ 38ページ)	暖房 強風 空調 風向 ホットスタート 設定温度 20℃ 点灯
	リモコンから設定した運転モードと室外ユニットの運転モードが異なるとき (室外ユニットが[冷暖同時機]以外のとき) ●実運転モードが**点滅**します。 ※PC-ARの場合は、さらに 運転制限中 が**点灯**します。	冷房 暖房 強風 空調 風向 設定温度 20℃ 点滅 室外ユニットの運転モードが「暖房」のときにリモコンから「冷房」設定した場合

運転のしかた

留意事項

●リモコンスイッチがPC-ARの場合は、上記 ホットスタート 表示が 運転制限中 表示になります。

その他の液晶表示について(つづき)

PC-AR1の場合

異常時の表示

異　常	●運転ランプ(赤色)が点滅します。 ●液晶に アラーム の文字が表示されます。 ●液晶に室内ユニット番号、アラームコード、機種コードおよび据付台数が表示されます。 ●リモコンスイッチが複数台の室内ユニットと接続されている場合は、室内ユニットごとに順次表示します。
停　電	●全ての**表示が消え**ます。 ●停電などで運転が止まると、再び通電されても**再運転**しません。運転操作をやり直してください。 ●**約2秒**までの瞬時停電の場合は、自動的に**再運転**します。
ノイズ	●全ての**表示が消え**、運転も停止することがあります。これはノイズの影響で装置保護のためマイコンが作動したものです。運転操作をやり直してください。

その他の受光部の表示について

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

通常時の表示

温　度 調節器	**温度調節器作動**のとき ●表示は変わりませんが、**弱風運転**になります。 (暖房運転時のみ)	
除　霜 (冷暖房兼用機のみ) (ビル用マルチ冷暖同時機を含む)	**除霜運転**のとき ● フィルタ/除霜 ランプ(黄色)が**点灯**します。 室内送風機は**停止**します。 風向調節羽根は**固定**されます。 **除霜運転中に運転を停止**させたとき ● 運転/受信 ランプ(赤色)は消えますが、フィルタ/除霜 ランプ(黄色)は点灯のまま運転は続行し、**除霜終了後に停止**します。	 図は71 ～ 112型を示します。
フィルター	**フィルターサイン** ●液晶表示の フィルタ/除霜 を表示し、エアーフィルターの清掃時期をお知らせします。 (☞39ページ) フィルターサインは積算運転200時間で点灯します。 掃除後、ワイヤレスリモコン送信部をユニット本体の受光部に向けて、リセット スイッチを押すと表示は消えます。	 図は 71 ～ 112 型を示します。

その他の受光部の表示について

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

異常時の表示

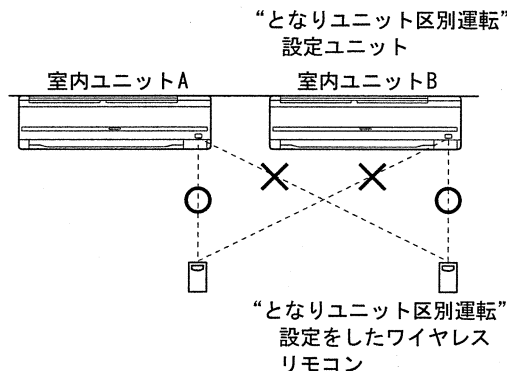
異　常	● [運転/受信] ランプ(赤色)が0.5秒点灯/0.5秒消灯の周期で**点滅**します。 ●アラームコードの表示は [タイマー] ランプ(緑色)と [フィルタ/除霜] ランプ(黄色)で表示します。 [タイマー] ランプ(緑色)：アラームコードの10の位を点滅回数で表示します。 [フィルタ/除霜] ランプ(黄色)：アラームコードの1の位を点滅回数で表示します。 （アルファベットのコードはＡ:10回、Ｂ:11回、Ｃ:12回･･･になります。） 例）35アラームの場合 [タイマー] ランプ(緑色)が3回、0.5秒点灯/0.5秒消灯の周期で**点滅後** [フィルタ/除霜] ランプ(黄色)が5回、0.5秒点灯/0.5秒消灯の周期で**点滅し、** アラームがリセットされるまで上記を繰り返します。(アラームコード内容は46ページ参照)
停　電	●全ての**表示が消え**ます。 ●停電などで運転が止まると、再び通電されても**再運転**しません。運転操作をやり直してください。 ●**約2秒**までの瞬時停電の場合は、自動的に**再運転**します。
ノイズ	●全ての**表示が消え**、運転も停止することがあります。これはノイズの影響で装置保護のためマイコンが作動したものです。運転操作をやり直してください。

となりユニット区別運転について

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

エアコンを隣り合わせで2台設置した場合、ワイヤレスリモコンからの信号が両方に送信されることがあります。各エアコンを1台ごとに確実に運転操作させるため"となりユニット区別"設定を使用して、隣のユニットに干渉させないようにすることができます。
室内ユニットプリント板の設定変更が必要になりますので、詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

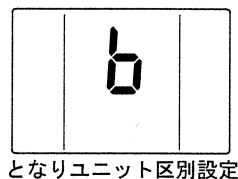
留意事項

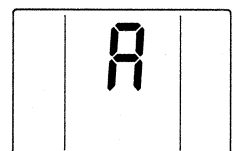
●一度設定したワイヤレスリモコンでも、電池を交換すると設定が消去されてしまいますので、再度設定が必要になります。

ワイヤレスリモコンのとなりユニット区別設定方法

【となりユニット区別機能の設定】

①ワイヤレスリモコンの"となりユニット区別"設定をします。
ワイヤレスリモコンの 入タイマー 、切タイマー スイッチを同時に3秒間押し続けてください。設定温度表示部に３秒間" b "が表示されます。

となりユニット区別設定

② ①のセットが完了しますと上図のように"となりユニット区別"をしたワイヤレスリモコンを操作しても室内ユニットＡは反応せず、"となりユニット区別"設定した室内ユニットＢのみ操作できます。

【となりユニット区別機能の解除】

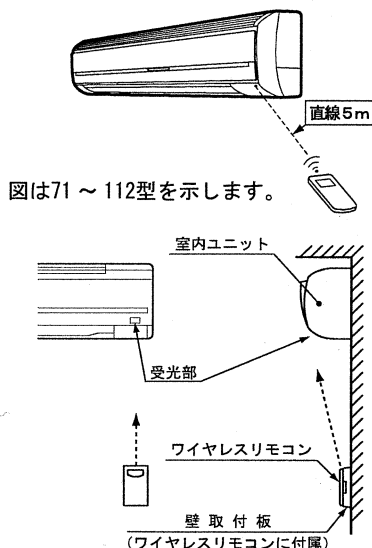
①ワイヤレスリモコンの"となりユニット区別"機能を解除します。
ワイヤレスリモコンの 入タイマー 、切タイマー スイッチを同時に3秒間押し続けてください。設定温度表示部に３秒間" A "が表示されます。

となりユニット区別解除

ワイヤレスリモコン取り扱い上の注意

PC-LH3A(ワイヤレスリモコン)の場合

●室内ユニット(受光部)に向けて操作してください。
受信できる距離は、直線で約5mです。外乱光を発生する電子点灯形蛍光灯(インバーター蛍光灯)などの影響により、受光部が、信号を受けにくくなる場合があります。ユニット本体と照明器具などは1m以上離してください。

●付属の壁取付板で柱や壁などに取り付けて使うこともできます。
事前に受信できることを確かめてから取り付けてください。

●リモコンスイッチは、ていねいに扱ってください。落としたり、水がかかると、送信できなくなる場合があります。

自動運転について

自動で次の運転をします

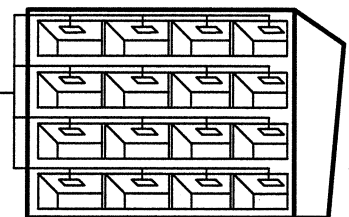
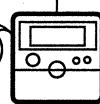
暖房運転は、[店舗/オフィス用冷暖房兼用機]、[ビル用マルチ冷暖房兼用機]のみの機能です。
[店舗/オフィス用冷房専用機]および[ビル用マルチ冷房専用機]は、暖房運転できません。

3分ガード		圧縮機運転停止後、圧縮機保護のために、最低3分間は圧縮機は再運転しません。約3分後には自動的に再運転します。
冷房運転時	凍結防止	室内ユニットの熱交換器の温度が異常に下がると自動的に圧縮機を止めて、送風運転をして熱交換器が凍結するのを防止します。
	膨張弁セルフクリーニング運転	冷房運転時、停止中の室内ユニットから時々冷媒の流れる音がします。これは、膨張弁セルフクリーニング運転をしているためで故障ではありません。なお、この運転はビル用マルチエアコンのみ実施します。
暖房運転時	ホットスタート	暖房運転開始時、除霜運転後および暖房時の吹き出し温度が低いときに冷たい風が出ないように、風量を自動的に「微風→弱風→設定風量」と徐々に変えます(最大約2分間送風機が停止することがあります)。このとき、アメニティリモコンの場合 ホットスタート が表示され、吹出口の風向調節羽根は固定されますが自動的に元に戻ります。
	除霜運転	除霜運転中は冷たい風が出ないように、室内送風機は停止します。このとき、風向調整羽根は自動的に固定されますが、除霜終了後元に戻ります。
	余熱排除	暖房運転停止時、室内ユニット内部の温度を下げるために、最大約2分間微風運転をする場合があります。
	過負荷防止	暖房運転のとき、室内温度によって異なりますが、外気温度が高い(約21℃以上)場合は運転を停止します。

留意事項

- ●暖房方式は部屋全体を暖める温風循環方式のため、部屋が大きい場合や室内温度が極端に低い状態から運転を開始した場合には、部屋全体が温まるまでに時間がかかります。部屋全体が温まると ホットスタート の文字は消えます。
- ●除霜運転中および除霜運転直後に ホットスタート が表示される場合があります。冷風感を防止するため『ホットスタート制御』を作動させているためで、異常ではありません。
- ●リモコンスイッチがPC-ARの場合は、上記 ホットスタート 表示が 運転制限中 表示になります。

複数台同時運転について

複数台のエアコン(最大16台、ただし、ツインは最大8セット、トリプルは最大5セット、フォーは最大4セット)を1つのリモコンスイッチで同時に操作できます。
詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

留意事項

- ●ワイヤレスリモコンで複数台同時運転をする場合は、別売の受光部キットを使用してください。
(室内ユニット内蔵の受光部のみ使用の場合は、ワイヤレスリモコンを使用した複数台同時運転はできません。)

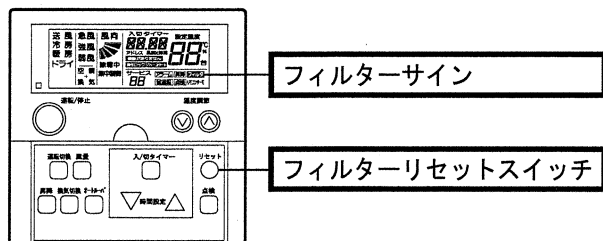
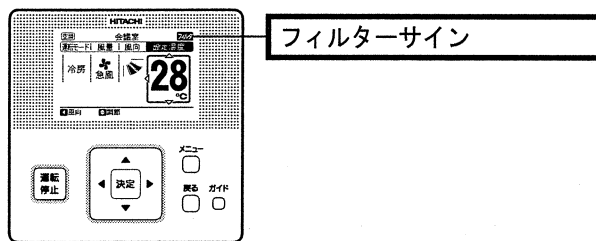
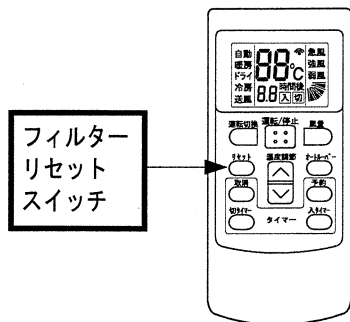
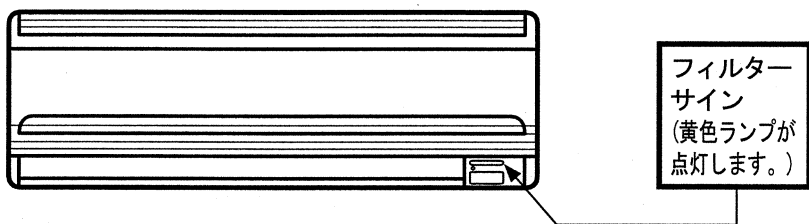
お手入れのしかた

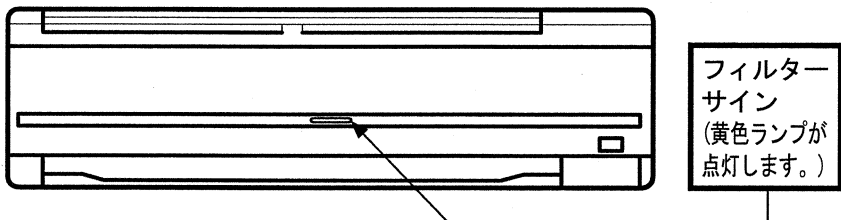
⚠警告	●必ずエアコンの元電源を切ってから作業してください。感電および傷害の原因になります。 ●お手入れの際、足場はしっかりしたものを使用してください。転倒および傷害の原因になります。
⚠注意	●フラットパネルの開閉、フィルターの取り付けおよび取り外し時はしっかり保持してください。 落下および傷害の原因になることがあります。

日常のお手入れ

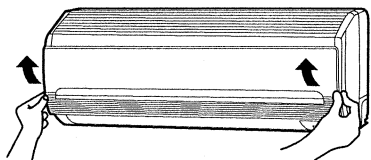
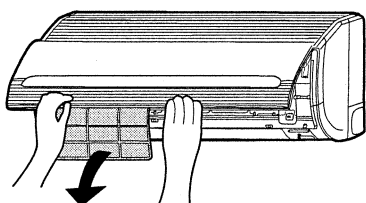
エアーフィルターの掃除のしかた

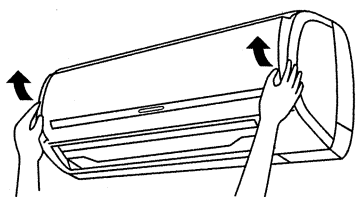
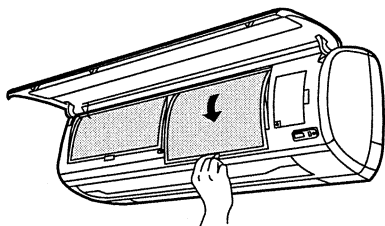
フィルターサインが点灯したらエアーフィルターの掃除をしてください。

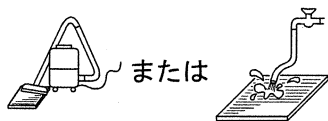
アメニティリモコン(PC-AR1)使用の場合

多機能リモコン(PC-ARF)使用の場合

ワイヤレスリモコン(PC-LH3A)使用の場合

お手入れのしかた(つづく)

1 エアーフィルターを取り外します。

●エアーフィルターはフラットパネルの内側に挿入されています。

《22 ～ 45型の場合》

①下図の矢印の位置(左右2ヵ所)をつかみ、フラットパネルを引き上げます。

②フィルターを持ち上げツメを外した後、下に下げます。

《50 ～ 112型の場合》(図は50 ～ 63型を示します。)

①下図の矢印の位置(左右2ヵ所)をつかみ、フラットパネルを引き上げます。

②フィルターを持ち上げツメを外した後、下に下げます。

2 掃除します。

●エアーフィルターの汚れは電気掃除機で取り除くか、水および中性洗剤で洗い流してください。

●エアーフィルターは日陰で自然乾燥させてください。

留意事項

●50℃以上のお湯は使用しないでください。熱により変形する恐れがあります。

●直火、ドライヤー、ヒーターなどで乾かさないでください。エアーフィルターの変形の原因になることがあります。

3 エアーフィルターを取り付けます。

●エアーフィルターが乾いたら、必ず元どおりフラットパネルの収納部に正しく入れてください。

留意事項

●エアーフィルターを取り付けてください。外したまま運転すると故障の原因になることがあります。

4 (リセット)スイッチを押します。

●PC-AR1の場合

運転を再開するときには、必ずリモコンスイッチのフィルターサインの(リセット)スイッチを押してください。フィルターサインが消灯して、次の掃除までの時間をカウントし始めます。

●PC-ARFの場合

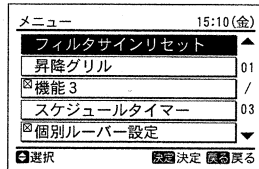
留意事項

●設定されている積算時間に達していない場合は☒印が点灯し、「設定できません」が表示されます。

(メニュー)スイッチを押します。

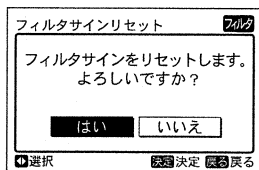
メニュー画面で

フィルタサインリセットを選択して、(決定)スイッチを押します。

フィルターサインリセット確認を表示します。

『◁』または『▷』スイッチで

はいを選択して、

(決定)スイッチを押します。

フィルタの表示が消えて、運転操作画面に戻ります。

●PC-LH3Aの場合

ワイヤレスリモコンの送信部をユニット本体の受光部に向けて、(リセット)スイッチを押してください。

フィルターサインが消灯して、次の掃除までの時間をカウントし始めます。

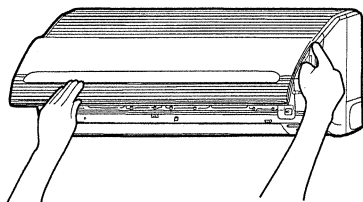
お手入れのしかた(つづき)

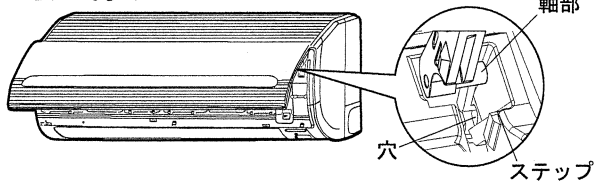
フラットパネルのお手入れ

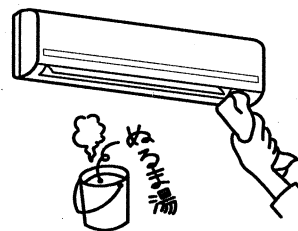
[22 ～ 45型] フラットパネルは丸洗いできます。
取り外して、柔らかいスポンジなどで洗ってください。なお、中性洗剤を使った場合は、よく水洗いしてください。

フラットパネルの着脱のしかた

●フラットパネルは必ず両手で着脱してください。

外す

●両手でパネルを開ききったところで右側アームの奥を内側に押して外した後、少し閉じながら手前に引いてください。

取り付ける

●フラットパネルの左右アームの軸部を、本体のステップに沿って穴に入るまでしっかりと差し込みます。確実に取り付いていることを確認した後、フラットパネルを閉じます。

[50 ～ 112型]
ぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞って拭いてください。

留意事項 [22 ～ 112型共通]

●フラットパネルのお手入れには柔らかい布を使用してください。ベンジン、シンナー、洗剤(界面活性剤入り)などを使うと樹脂部分が変色や変形する原因になることがあります。

お手入れのしかた

シーズン始めと終わりのお手入れ

シーズン　始め

●室内ユニット空気吸込部(フラットパネル付近)と室外ユニット空気吸込口および**空気吹出口の障害物**を取り除いてください。

●室内ユニットの**エアーフィルターがつまっていない**ことを確認してください。

シーズン　終わり

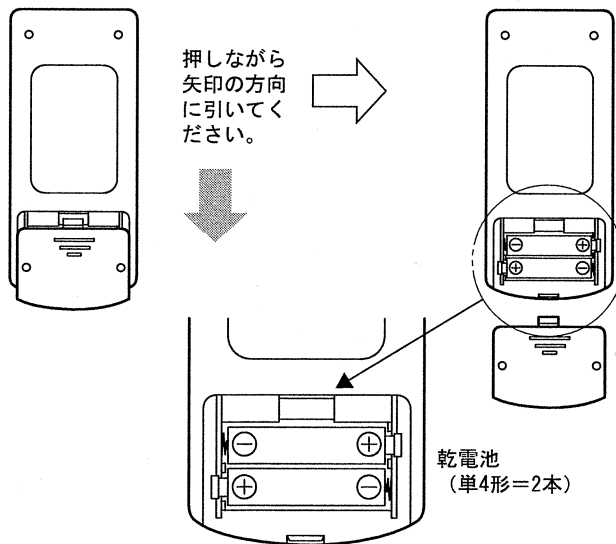
●エアーフィルター、フラットパネルおよび吹出パネルを掃除してください。

ワイヤレスリモコンの電池の交換のしかた

電池の寿命は、普通の使い方でほぼ1年です(アルカリ乾電池の場合)。「受光部にワイヤレスリモコンを近づけないと運転や風量切換などができない・・・・・。」このような現象がでましたら、次の要領で電池交換をしてください。

電池交換のしかた

①矢印の方向に"ふた"を外し、古い電池を取り出してください。

②新しい電池を入れてください。+(プラス)・−(マイナス)はケースの表示どおり正しく入れてください。

ワイヤレスリモコンの電池は、マンガン乾電池単4型=R03、またはアルカリ乾電池単4型=LR03が使用できますが、電池の寿命期間の点から、日立マクセルアルカリ乾電池単4型=LR03をお使いくださることをおすすめします。(アルカリ乾電池の方がマンガン乾電池より寿命が長くなります。)

注意

●電池は次の点に注意して使用してください。誤った使い方をすると、液漏れおよび破裂の原因になることがあります
1. 新しい電池と使った電池を混ぜて使わないでください。
2. 種類の違う電池(例えばマンガン乾電池とアルカリ乾電池)を混ぜて使わないでください。
3. 長期間(2〜3ヵ月)使わない場合は、電池寿命の観点から、電池を取り出しておくことをお勧めします。

●電池を取り出し、再び挿入する場合は、誤作動防止のため、5秒間以上経過してから挿入してください。
●となりユニット区別設定をしている場合は、電池交換すると設定が消去されてしまいます。
電池交換後、再度となりユニット区別設定をしてください。(☞37ページ)

故障かなと思ったら

こんなときは故障ではありません

症　状		原　因
運転が止まる	リモコンスイッチの表示灯がすべて消えたとき。	電磁波などの影響で、装置保護のためにマイコンが作動したためです。運転操作を初めからやり直せば元に戻ります。
	停電があったとき。	運転操作を初めからやり直してください。なお、約2秒までの瞬時停電は、自動的に再運転します。
白い霧状の水蒸気が出る	暖房運転のとき。	暖房運転時の除霜運転中にこのような現象が起こる場合があります。
白い煙が出る	暖房シーズン始めの運転開始のとき。	室内ユニットの熱交換器に付着していたゴミが乾燥するためです。
霧が出る	飲食店、厨房などで使用している場合。	油脂類がフィンに多量に付着すると熱交換が悪くなり、霧を発生させることがあります。
	ドライ運転のとき。	吹出温度が低くなったためです。運転パターンを変更してください。
においが出る	運転中、室内ユニットから吹き出す風がくさい。	タバコの煙や部屋のにおいなどが室内ユニット内部に付いたためです。エアーフィルター、フラットパネルおよび空気吹出口のお手入れや送風運転で換気を十分してからご使用になると効果がある場合があります。
音が出る	運転の始めや運転の終わりのときに「ミシッ」という音がする。	樹脂部品が温度の変化によって伸縮して、相手部品とこすれる音です。
	運転中に「シュー」という水の流れる音や「ボコボコ」という水が沸騰するような音がする。	冷媒が流れる音です。特に運転開始時や圧縮機停止時(約3分間)に聞こえる場合があります。オプションのドレンアップメカを取り付けている場合、ドレン水をかき出す音が聞こえることがあります。
	運転停止後の室内ユニットから音がする。	ビル用マルチエアコンの場合、他の室内ユニットの運転による冷媒が流れる音や、樹脂部品が温度の変化により伸縮してこすれる音がする場合があります。
露がつく	パネルやキャビネットに結露または露が落下する。	高湿度(相対湿度約80%)で長時間運転すると結露する場合があります。
リモコン表示の ホットスタート が点灯または点滅する		運転モードおよび運転条件により、点灯または点滅することがあります。(☞ 34ページ)
リモコン表示の運転モードが点滅する		

留意事項

●リモコンスイッチがPC-ARの場合は、上記 ホットスタート 表示が 運転制限中 表示になります。

故障かなと思ったら（つづく）

修理を依頼される前にお調べください

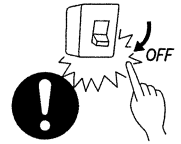
症　状		調べるところ	運転を再開するとき
運転しない		エアコンの元電源は入っていますか。	エアコンの元電源を入れてください。
		元電源のヒューズやブレーカーが切れていませんか。	ヒューズの交換または、ブレーカーを入れてください。 再発する場合は、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へご相談ください。
運転するがすぐ止まる	冷房時	室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口が紙やビニール、洗たく物などでふさがれていませんか。	空気吸込口や空気吹出口をふさいでいる物を取り除いてください。
	暖房時	室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口の近くに風の妨げになるものがありませんか。	風の流れの妨げになっている物を取り除いてください。
		吹出空気がそのまま空気吸込口に吸い込まれていませんか。	
よく冷えない、よく暖まらない		運転モードは適正ですか。	送風運転になっている場合は冷房（暖房）運転モードに切り換えてください。
		設定温度は適正ですか。	温度調節スイッチの ∨ 部（冷房時）、∧ 部（暖房時）を押してみてください。
		風の吹出方向は適正ですか。	吹出方向を変えてみてください。
		エアーフィルターが目づまりしていませんか。	エアーフィルターを掃除してください。
		部屋の窓や戸が開いていませんか。	窓や戸を閉めてください。
		室内ユニットまたは室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口のまわりに障害物がありませんか。	障害物を取り除いてください。

故障かなと思ったら（つづき）

次の場合はお買い上げの店へご連絡ください

●前ページの点をお調べいただいても調子が良くならないとき、また、前ページの点以外の症状があるときは使用を中止してお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

警告

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して、元電源スイッチをただちに切ってください。
異常のまま運転を続けると故障、感電および火災などの原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

症　　状	次の処置をしてから連絡を
ヒューズ、ブレーカー、漏電遮断器などの安全装置がたびたび作動する、または運転スイッチの作動が不確実。	電源を切ってください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。
●運転ランプ（赤色）が点滅します。 ●液晶に アラーム の文字が表示されます。 ●液晶に室内ユニット番号、**アラームコード**、機種コードおよび据付台数が表示されます。 ●リモコンスイッチが複数台の室内ユニットと接続されている場合は、室内ユニットごとに順次表示します。 液晶の内容を確認して、お買い上げの店にご相談ください。	次ページの「アラームコード一覧表」を参照し、リモコンの表示内容を連絡してください。

PC-AR1の場合

交互に1秒間ずつ表示します。

PC-ARFの場合

PC-LH3Aの場合

ワイヤレスリモコンの場合は、ユニットの表示部にランプの点滅回数でアラームコードを表示します。
（☞36ページ）

お買い上げの店にご連絡のときお知らせください

1. **型式** 一型式の表示個所は（☞5～7ページ）
2. **故障の症状** 一できるだけ詳しく
3. **アラーム表示の番号または受光部点滅状況** 一（☞35, 36ページ）

故障かなと思ったら

アラームコード一覧表

アラームコード	アラーム内容	アラームコード	アラーム内容
01	室内保護装置作動	38	保護検出回路異常
02	室外保護装置作動	39	一定速圧縮機電流異常
03	伝送異常(室内ー室外)	41	冷房過負荷
04	伝送異常(インバーター)	42	暖房過負荷
05	相検出異常	43	圧力比低下防止保護作動
06	室外電圧低下異常	44	低圧圧力上昇保護作動
07	吐出ガススーパーヒート低下異常	45	高圧圧力上昇保護作動
08	圧縮機上温度過昇	46	高圧圧力低下保護作動
09	室外送風機保護装置作動	47	低圧圧力低下保護作動
11	吸込空気温度サーミスター異常	48	過負荷運転保護作動
12	吹出空気温度サーミスター異常	51	インバーター電流センサー異常
13	室内熱交液管温度サーミスター異常	52	インバーター過電流保護作動
14	室内熱交ガス管温度サーミスター異常	53	トランジスターモジュール保護作動
19	室内送風機保護装置作動	54	インバーターフィン温度上昇保護作動
20	圧縮機上部温度サーミスター異常	56	室外ファンモーター位置検出異常
21	高圧圧力センサー異常	57	室外ファンモーターコントローラー保護作動
22	外気温度サーミスター異常	58	室外ファンモーターコントローラー異常
23	吐出ガス温度サーミスター異常	90	蓄熱ユニットアラーム
24	配管温度サーミスター異常	91	蓄熱フロートスイッチ異常
29	低圧圧力センサー異常	92	水位異常
31	室内外組み合わせ誤り	99	蓄熱リモコン伝送異常
32	他室内ユニット号機設定誤り	b1	アドレス･冷媒系統設定誤り
35	室内ユニット号機設定誤り	EE	圧縮機保護アラーム
36	室内ユニット組み合わせ誤り		

製品の種類と騒音値

項目 \ 機種		RPK-AP22K RPK-AP22KH	RPK-AP28K RPK-AP28KH	RPK-AP36K RPK-AP36KH	RPK-AP40K	RPK-AP45K
種類	機能	冷暖房兼用型、冷房専用型				
	ユニット構成	分離式				
	凝縮器の冷却方式	空冷式				
	送風方式	直接吹出型				
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz				
	三相	—				
騒音値 (dB)		急 38 強 36 弱 34	急 38 強 36 弱 34	急 38 強 36 弱 34	急 40 強 38 弱 36	急 40 強 38 弱 36

項目 \ 機種		RPK-AP50K	RPK-AP56K	RPK-AP63K
種類	機能	冷暖房兼用型、冷房専用型		
	ユニット構成	分離式		
	凝縮器の冷却方式	空冷式		
	送風方式	直接吹出型		
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz		
	三相	—		
騒音値 (dB)		急 41 強 39 弱 37	急 41 強 39 弱 37	急 43 強 41 弱 39

項目 \ 機種		RPK-AP71K	RPK-AP80K	RPK-AP90K	RPK-AP112K
種類	機能	冷暖房兼用型、冷房専用型			
	ユニット構成	分離式			
	凝縮器の冷却方式	空冷式			
	送風方式	直接吹出型			
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz			
	三相	—			
騒音値 (dB)		急 43 強 40 弱 37	急 43 強 40 弱 37	急 49 強 46 弱 43	急 49 強 46 弱 43

留意事項

騒音値は反響の少ない無響室などの部屋で、室内ユニットは製品正面1m、下方1mの測定位置における値(Aスケール)を表示します。実際の据え付け状態では、周囲の騒音や反響を受け、表示値より大きくなります。

製品の保安上の明細

355型以上の室外ユニットと組み合わせられる場合は法定冷凍能力5トン以上の製品となるため、高圧ガス保安法に基づき冷媒ガスの圧力を受ける部分の材料、構造を遵守し、圧力試験が実施されています。

冷媒ガスの圧力を受ける部分の部品を交換または修理される場合（法定冷凍能力5トン以上）は、資格（冷凍機器製造事業所）のあるサービス工事店に依頼されるようお願いいたします。

熱交換器	型式		—	多通路クロスフィン式
	許容圧力	R410A	MPa	4.15
	台数		—	1（ユニット1台当たり）
	主要材料		—	C1220T-O（リン脱酸継目無銅管）

保証について

保証書は、組み合わせられる室外ユニットに付属しています。

●保証書はお買い上げの店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。

●保証期間中はお買い上げの日から1年間です。
保証期間中万一故障したときは、保証書記載事項に基づいて1年間は無償修理いたします。
お買い上げの店にご連絡ください。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理は有料になります。
なお、エアコンの故障に起因した営業補償などの2次補償はいたしません。

●補修用性能部品の保有期間について
このエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、補修用性能部品を調達したうえ、修理によって機能を維持できるときは、お客様のご要望により有償修理いたします。

アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス店と保守契約(有料)いただければ、日立パッケージエアコン専門のサービスマンがお客様に代わって点検をします。
万一の故障のときも早期に発見し、適切に処置をすることができます。

●使用される環境下により残存するドレン水が変質し、ドレンパン出口やドレンポンプの詰まりが発生することが稀にあります。
また、ドレン水の変質により製品内部に錆びやカビなどが発生し、異臭などの原因にもなりますので定期的な清掃をお願いいたします。

移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

●エアコンを長年お使いになったあと廃棄されるときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

※本製品（パッケージエアコン）は、業務用エアコンです。

良好な状態でお使いいただくため、お客様の行う日常点検（フィルター清掃など）に加え、専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。

下記の【設計上の標準使用期間とは】は、家庭用としてご使用された場合を想定して表示をしています。

【本体への表示】

※経年劣化による危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を、本体の銘板近傍に行っています。

〔製造年〕（本体の銘板（仕様銘板）の中に西暦４桁で表示してあります。）

※【設計上の標準使用期間】　１０年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、
経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や温湿度など、下表の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件…（社）日本冷凍空調工業会の自主基準（家庭用エアコン）による

環境条件	電源電圧		定格表示電圧による
	周波数		定格表示周波数による
	冷房	室内温度	27℃（乾球温度）
		室内湿度	47%（湿球温度:19℃）
		室外温度	35℃（乾球温度）
		室外湿度	40%（湿球温度:24℃）
	暖房	室内温度	20℃（乾球温度）
		室内湿度	59%（湿球温度:15℃）
		室外温度	7℃（乾球温度）
		室外湿度	87%（湿球温度:6℃）
	設置条件		機器の据付点検要領書による標準設置
負荷条件	住宅		木造平屋，南向き和室，居間
	部屋の広さ		機器能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年当たりの使用日数		東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間		冷房：9時間／日 暖房：7時間／日
	1年間の使用時間		冷房：1，008時間／年 暖房：1，183時間／年

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。